

Ⅱ 各教科編集の概要

1 国 語

1 編集の具体的方針

(1) 小学部第1学年第1巻は、点字学習のための導入教材とした〔資料1〕。点字の触読に習熟するための教材を片面書きで掲載しているが、盲児童の実態に応じて必要な補助教材を準備することが大切である。

また各学年は従来通り上・下巻に合わせて2冊ずつとしたが、第5学年及び第6学年は今回合本化されたために、それぞれ次の箇所に分冊をした。

第5学年 127 ページ（季節の言葉 秋の空）までを5-1

128 ページ（単元7）から5-2

第6学年 131 ページ（季節の言葉 秋は、人恋し）までを6-1

132 ページ（単元7）から6-2

(2) 教材の修正については、盲児童の生活経験からは理解しにくいもの、または理解の程度や興味・関心の上から修正を加えた方がより理解しやすく、教材への親近感が高まると考えられる場合に限って行う。その上で、できるだけ原典に忠実に点字化するように配慮したが、細かい点では、次のような修正を行った。

① 普通の文字の表記を点字化するにあたっては、点字表記の特性を踏まえて、可能な範囲で対応措置を図った。

② 表・図・グラフ等は、点字表記の可能性と児童の理解度を考慮して、修正したり、削除したりした。したがって、指導の際には、適切な補助教材で読解を助けるように配慮する工夫が不可欠である。またノート例等では、児童自身が実践できる形式となるように配慮して修正した。

③ 文字の形、漢字の部首等の教材は、児童の理解度を考慮して、修正を加えた上で必要に応じて点線文字で掲載した。

④ 地図は、内容を読み取る上で不可欠なものに限り、修正を加えた上で、点図で掲載した。

⑤ 「右の」、「左記の」、「上の」、「下の」などの表現をそれぞれ「この」、「次の」、「前の」、「後の」などの表現に修正した。

⑥ 「注」は原則として、該当ページの欄外に掲載した。

⑦ 記号等の修正は、読解を助ける場合に限って行い、原則として原典通りとした。

(3) 国語の正しい理解を促すために、普通文字の仮名文字や漢字に関する教材については、その基礎的な知識となるものを選定して掲載した。

① 「漢字の広場」は、該当する漢字部分に第1カギを付けて示し、課題に取り組む際に必要なイラスト部分を言語化して挿入した。しかし、課題の内容上詳細な説明を加えることができないため、説明は必要最低限のものにとどめた。したがって指導に当たっては、課題の意図を踏まえた上で十分な工夫と配慮が必要である。

② 「覚えておきたい漢字」は、小学校学年別漢字配当の中から次の基準に沿って82字を選定し、字形も掲載した。2年までの教材で字形が扱われなかったものは、1年2巻から2年2巻までの巻末に掲載した。

- ・日常生活の中で字形をもとに語られる漢字
- ・部首のもとになる漢字
- ・画数が多いために児童の負担になる事のない漢字

③ 各教材の欄外及び教材末の漢字については、2学年までは「読み方が新しい漢字」と表題を付け、例1のように示した。3学年からはさらに「新しく学習する漢字」と「特別な読み方をする言葉」

を加え、欄外掲載の語句をもとにそれぞれ例2，例3のように示した。この時の音および訓の掲載順は巻末の「カンジー博士の漢字学習のすすめ」および「この本で習う漢字」の掲載順とした。また、漢字の訓を示す場合、送り仮名は第2つなぎ符を用いて示した。

例1 「読み方が新しい漢字」〔原典 第2学年上 25ページ〕

つり「あ」げる（うえ）

例2 「新しく学習する漢字」〔原典 第3学年上 9ページ〕

「ひら」く（かい□ひら[⠠]く□ひら[⠠]ける□あ[⠠]く□あ[⠠]ける）□□「かい」てん
□□「かい」かい。

例3 「特別な読み方をする言葉」〔原典 第3学年上 7ページ〕

いっ「ぷん」かん（ぶん□わ[⠠]ける□わ[⠠]かれる□わ[⠠]かる□わ[⠠]かつ）

- (4) 点字表記に関する新出事項は、該当の各教材末に掲載した。さらに第1学年から第5学年の各巻末には、点字ドリルを掲載し、点字表記法に習熟するための教材とした〔資料2〕。
- (5) 古典教材に含まれる歴史的仮名遣いは、第4学年まではすべて現代仮名遣いで示し、歴史的仮名遣いについては欄外注に掲載した。第5学年からは、現代仮名遣いに続けて、歴史的仮名遣いによる表記を第1カッコを付けて掲載した。
- (6) 表現課題などで字数制限があるものについては、一応の目安として、普通文字200字を点字32マス11行と対応させた。
例 400字（原典）→ 400字（点字32マス22行）
- (7) ローマ字について、第4学年から第6学年にも資料を再掲した。
- (8) 原典ページは、ページ行に「⠠」で挟んでページ行の左側に挿入した。児童への周知を意図し、目次の最後にこのことを掲載した。

2 編集の具体的内容

具体的な修正内容のうち、特記すべきものは以下の通りである。

- (1) 大幅な差し替えや、レイアウト上の工夫を行った箇所については、3.「参考資料」として掲載した。
- (2) 第1学年第1巻は、今回、点字学習のための導入教材の巻として分冊された。指導に当たっては、児童の実態を十分に把握した上で、点字習熟に向け指導することが大切である。特に『点字学習指導の手引（平成15年改訂版）』（平成15年度文部科学省）などを参考にし、必要な補助教材の準備や指導の工夫が必要である。この際の一般的留意事項は以下の通りである。
 - ①当初から両手読みの指導を重視する。
 - ②行の上に、両手指を置くことを大切にする。
 - ③行たどり、行替えの動作の指導を大切にし、両手の分業へと繋げられるようにする。
 - ④点の位置の弁別学習を十分に行い、点字の1マスの枠組みが理解できるようにつとめ、安易に文字としての指導に進まないように留意する。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1上	1		修正	はる (チョウ, タンポポ, クローバの点図を挿入)	編集の具体的方針(2)による。
	8		修正	<p>「あかるい こえで」 (挿絵を次の言葉に修正)</p> <p>あさ ともだちに あいました おはよー</p> <p>せんせいに あいました おはよー ございます</p> <p>きょーしつで てを あげました はい</p> <p>がっこーが おわりました ともだちに てを ふりました さよーならー</p> <p>きんじょの おばさんに あいました こんにちわ</p> <p>ゆーがたです おかあさんと でかけました しりあいの おじいさんに あいました こんばんわ</p>	編集の具体的方針(2)による。
	10		修正	<p>「どうぞ よろしく」 (カードを次のように掲載)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1ねん 1くみ あまの たくや</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>1ねん 1くみ さくま ごー</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1ねん 1くみ たけうち みわこ</p> </div>	編集の具体的方針(2)による。
12		修正	<p>「おはなし よんで」 (挿絵を次のように修正)</p> <p>いいからいいから はなをくんくん トイレにいったいいですか だいくとおにろく ハンダのびっくりプレゼント キャベツくん これはのみのびこ バナナ おおきくなるっていうことわ</p>	編集の具体的方針(2)による。	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1上	14		修正	「うたに あわせて あいうえお」(太陽を点図で挿入)	編集の具体的方針(2)による。
	18-19		修正	(挿絵を削除し、次のように修正) あいうえお あり いか うし えき おに あひる いるか うちわ えんぴつ おりがみ	
	20-21		修正	<p>「ふたりで おはなし」 (挿絵を削除し、次のように修正した。)</p> <p>「なにが いますか。」 「さるが います。」 「どこに いますか。」 「きの うえに います。」 「なにを して いますか。」 「りんごを とって います。」</p> <p>「なにが いますか。」 「ぶたが います。」 「どこに いますか。」 「さくの なかに います。」 「なにを して いますか。」 「りんごを たべて います。」</p> <p>「なにが いますか。」 「うしが います。」 「どこに いますか。」 「きの したに います。」</p> <p>「なにが いますか。」 「かえると おたまじゃくしが います。」 「どこに いますか。」 「いけに います。」</p> <p>「なにが いますか。」 「とりが います。」 「どこに いますか。」 「やねの うえに います。」 「なにを して いますか。」 「ないて います。」</p> <p>「なにが いますか。」 「うまが います。」 「どこに いますか。」 「こやの なかに います。」 「なにを して いますか。」 「うさぎと おはなし して います。」</p> <p>「なにが いますか。」 「うさぎが います。」 「どこに いますか。」</p>	<p>編集の具体的方針(2)による。</p> <p>※この教材は、児童同士あるいは児童と教師のふたりで、「なにが」「どこで」「なにを」を「尋ねる—答える」の対話で行い、コミュニケーションの初歩を身につけることを目的とする教材である。</p> <p>指導に当たっては、ここに示された文例にこだわることなく、児童の実態に合わせた様々な内容や指導の工夫が望ましい。</p>

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1上	20-21		修正	「うまごやの まえに います。」 「なにを して いますか。」	編集の具体的方針(2)による。
	22-23		削除	「さるがいる。」は掲載済みなので削除。	編集の具体的方針(2)による。
			修正	・清音の語と濁音の語の組は、挿絵を削除し、各組毎に棒線で繋げて掲載した。	
	30		修正	・挿絵を削除し、言葉で空欄部分を補い、文にした。 くまが うたう。 ひつじが ねむる。 いぬが はしる。	編集の具体的方針(2)による。
	32		修正	わけを はなそう (挿絵を削除し、次のように修正) わけを はなそー わらって いる ないて いる おこって いる	編集の具体的方針(2)による。 ※この教材は、顔の表情の挿絵からその理由を考え、論理的思考を支える文型を身につけることを目的とした教材である。点字化上、挿絵が文章化されての提示となるので、児童の実態に合わせ文章以外の教材等を用いて、「どうしてかという」との部分の口頭で説明させる等の指導内容の工夫が望ましい。
	33			どーしてかと いうと あさがおの めが だた。 あさがおの ふたばが だた。 いしに つまづいて ころんだ。 ともだちと じょーろの とりあいを した。 あさがおの はちが われた。 せんせいに あさがおの えを ほめられた。	
	36		修正	(クロスワードを次のように修正) おなじ もじを みつけよー。 ほーれんそー れんこん にんじん とーもろこし ごぼー たけのこ	編集の具体的方針(2)による。
	37		修正	・同列の長音の語の組は、挿絵を削除し、各組毎に棒線で繋げて掲載した。	編集の具体的方針(2)による。
	43-48		修正 削除	「くちばし」(きつつき、おうむ、はちどりのくちばしを点図で挿入、写真は削除)	編集の具体的方針(2)による。
	52-53		修正	「なんて いったら いいのかな」 (挿絵を削除し、次のように修正) 砂場で友だちと遊んでいます。 次のような時、なんといいですか。	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1 上	52-53		修正	<p>(空いているところをさがして) 友だち ここで一緒に作ろう。 わたし <input type="text"/>。</p> <p>(高さを比べて) 友だち 私の砂山が一番高い。 わたし <input type="text"/>。</p> <p>(星形を持って) 友だち 星の形を作ろう。 わたし <input type="text"/>。</p> <p>(水を入れたバケツを持って) 友だち 砂山の上から水を流そう。 わたし <input type="text"/>。</p> <p>(高い山を作って) 友だち 砂山にトンネルを作ろう。 わたし <input type="text"/>。</p> <p>(砂山を踏んで) 友だち あ、山を踏んだよ。 わたし <input type="text"/>。</p> <p>(友だちが、バケツで水を運ぶ時に転んで) 友だち あ、いたい。 わたし <input type="text"/>。</p> <p>(重そうにバケツを持っている友だちに) 友だち よいしょ、よいしょ。 わたし <input type="text"/>。</p> <p>教室では、あなたと友だちはどんな話しをしますか。 か。きょうしつではあなたともだちはどんなはなしをしますか。</p>	※この教材は、児童にとって身近な学校生活場面で、児童同士が対話を繰り返しコミュニケーションの基礎を身につけることを目的にした教材である。指導に当たっては、ここに示された例にこだわることなく、児童の実態に合わせた様々な内容や指導の工夫が望ましい。
	56		修正	<p>「こんな いしを みつけたよ」 (石の写真を次の文章にかえた。) いしをひろったりせんせいやおうちのひとにみつけてもらったりして、いろ、かたち、てざわり、においなどかんじたことをいみましょう。</p>	<p>編集の具体的方針(2)による。 ※この教材は、論理的思考を支える文型を身につけることを目的とした教材である。指導に当たっては、児童の実態に合わせて、身近なものの命名とその理由の客観的な説明に適切な教材の工夫が望ましい。</p>
	66		追加	「わ を え」を つかおう	編集の具体的方針(2)(3)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1上	68		修正	「すきなもの、なあに」 (挿絵されているカードを次のように修正した。) なおき — すいか みわこ — うたをうたうこと さおり — あさがお たつや — サッカー よしひさ — さんすう まさえ — なわとび こうすけ — きゅうしょく しんたろう — じをかくこと ななこ — ピアノ じゅんこ — かぶとむし	編集の具体的方針(2)による。
	80		修正	「おおきな かぶ」 おはなしを たのしみましょう。 (挿絵を削除し、次のように修正) やくを きめて よみましょう。 なれ—た— おじいさんが、かぶの たねを まきました。 おじいさん あまい あまい かぶに なれ。 おおきな おおきな かぶに なれ。 げきを しまししょう。 (かぶを ひっぱって。) 「うんとこしょ、どっこいしょ。」	編集の具体的方針(2)による。
	81-83		修正	「ほんは ともだち」 (絵を削除し、書名のみ第1カギで囲んで掲載) がっこうの としょかんには たくさんの ほんが あります。 つぎの ほんは もう よんだかな。 「花いっぱいになあれ」 「もけら もけら」 「まゆとおに」 「せいちゃん」 「ありとすいか」 「むしたちのうんどうかい」 「いのちのカプセル まゆ」 「ハンタイおばけ」 「あいうえおうさま」	編集の具体的方針(2)による。
	82-85		追加修正	(挿絵は削除し、各吹き出しの前に、場面を示す言葉を追加) 教室で あきら「としょかんで みつけたよ。いっしょによもう」 みんなの前に立って あや「いちばん すきな ところを よみます。 きいて ください」	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1上	86-87		修正	「かけるように なった」 (それぞれ「日記」「手紙」と見出しをつけ、「手紙」の後に次の文を追加) はじめに、あてなを かきましょう。 おわりに じぶんの なまえを かきましょう。 ぶんの かきはじめは 2ます あけましょう。 ぶんの おわりには ㊦ (まる) を つけましょ う。 ㊦ (てん) の あとは 一マス, ㊦ (まる) のあ とは 二マス あけましょう。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	99		修正	「ゆうだち」(2種の木の字形を, 点図で挿入)	編集の具体的方針(2)による。
	102		修正 追加	「かずと かんじ」(数え方にお金の数え方を付加し, 一から十の漢数字を点線文字で挿入) (挿絵を削除し, おりがみ, りんご, えんぴつ, 皿, ニンジン, ともだち, おにぎり, くるまの数え方を掲載)	編集の具体的方針(2)(3)による。
	113		修正	「かたかなを みつけよう」 (写真を削除し, 次のように文字で表現) つぎの「…」でしめたものはカタカナでかきま す。 「マット」「トレイ」「スプーン」「ゼリー」「ジ ャム」「サラダ」「シチュー」「パン」牛乳 「クレヨン」「モール」いろがみ 「サインペ ン」いろえんぴつ のり はさみ 「セロハンテー プ」	編集の具体的方針(2)(3)による。
	114- 117		修正	「かんじの はなし」 山 水 雨 上 下 (点図と点線文字でそれぞれ挿 入) 竹 田 川 林 森 月 (点線文字で挿入)	編集の具体的方針(3)による。
1下	18	1	削除 修正	「しらせたいな, みせたいな」 「えと」, 吹き出しの「えからせんをひいて」は削除 (モルモットのもこの説明を, 次のように文章化して 掲載) モルモットの もこ しろと ちゃいろと くの け もぐもぐ たべる まるくて くろい め はなの まわりの ながい ひげ	編集の具体的方針(2)による。
	23		修正	「じどう車くらべ」 (セダン型乗用車の点図を挿入し, 表を次のように 修正)	編集の具体的方針(2)による。

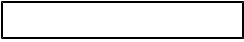
学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1下	26			<p>バスや乗用車</p> <p>1. 仕事一人を乗せて運ぶ仕事をしています。 そのために、</p> <p>2. つくり— <input type="text"/></p>	編集の具体的方針(2)による。
	28 29	1	削除修正	<p>「絵もかきましよう。」を削除。</p> <p>4. カタカナで かく ことば</p> <p>普通の文字の文には、ひらがなのほかにカタカナが使われています。</p> <p>次の言葉は、カタカナで書きます。</p> <p>クレーン トラック ショベルカー バス タイヤ</p> <p>(1)伸ばす音の書き方に気をつけましよう。</p> <p>クレーン (おねえさん)</p> <p>(2)次の言葉には、普通の文字で小さく書くカタカナやひらがながあります。</p> <p>トラック (はらっぱ)</p> <p>ショベルカー (としょかん)</p>	編集の具体的方針(3)による。
	30-31		移動	「まの いい りょうし」(30頁の後に、126-129頁を掲載)	<p>編集の具体的方針(2)による</p> <p>※文字が掲載されているが、これは児童に文字を「読む」ことを強要するものではないので指導においては留意して欲しい。</p>
	33-36		修正	<p>「むかしばなしが いっぱい」 (絵は削除し、次のようにお話のタイトルを掲載)</p> <p>1. にほんの むかしばなし</p> <p>「ゆきおんな」「かきじぞう」「うりこひめ」 「さるかにかっせん」「あかたろう」「すずめのおやど」 「ねずみのすもう」「わらしべちょうじゃ」 「はなさかじいさん」「かちかちやま」「3ねんねたろう」 「ききみみずきん」「ぶんぶくちやがま」 「ももたろう」「きんたろう」「うらしまたろう」 「つるのおんがえし」「てんぐのかくれみの」 「かぐやひめ」</p> <p>2. せかいの むかしばなし</p> <p>「シンデレラ」「ブレーメンの音楽隊」「ヘンデルとグレーテル」 「ながぐつをはいたねこ」「ハーメルンのふえふき」 「3びきのくま」「おおかみと7ひきのこやぎ」 「しらゆきひめ」「いばらひめ」「あおいとり」 「かみながひめ」「はだかのおうさま」 「あかずきん」「きんのがちょう」「うさぎとかめ」 「ジャックとまめの木」「きたかぜとたいよう」 「みにくいあひるのこ」「おやゆびひめ」「3びきのこぶた」 「アラジンとまほうのランプ」 「にんぎょひめ」</p>	編集の具体的方針(2)による

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1下	37		修正	<p>(「おはなしにつき」を次のように修正した。)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おはなし につき</p> <ol style="list-style-type: none"> よんだ 日や, よんで もらった 日 だいまいと おはなし おもしろかった しるし (ほしの かず) <ol style="list-style-type: none"> 11月 17日 「ぶんぶく ちゃがま」 (おしょうとたぬきが でてるおはなし。) ほし みつつ <ol style="list-style-type: none"> 11月18日 「ブレーメンの おんがくたい」 ほし ふたつ <p>.....</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>どくしょ けいかく</p> <p>これから よみたい おはなしの だいまいと よんだ 日</p> <p>「3ねん ねたろう」 (□月□日)</p> <p>「かぐやひめ」 (□月□日)</p> <p>「ヘンゼルと グレーテル」 (□月□日)</p> </div>	編集の具体的方針(2)による。
	38-39		追加	<p>「むかしばなしには、いろいろな楽しみ方があります。」 (以下の文をそれぞれ追加)</p> <ol style="list-style-type: none"> 歌を歌って楽しむ。 劇をして楽しむ。 オオカミ「あけておくれ、…」 指人形をして楽しむ。 	編集の具体的方針(2)による。
	40		修正	<p>「日づけと よう日」 (日 月 火 水 木 金 土 を点線文字で挿入)</p>	編集の具体的方針(3)による。
	43		修正	<p>「あつまれ、ふゆの ことば」 「ふゆのことばあつめ」とタイトルを付け、時計回りに掲載。集めた言葉は、棒線で結んで示した。</p>	編集の具体的方針(2)による。
	44	2	修正	<p>かるたの読み札を作しましょう。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>「お」</p> <p>おしょうがつ おぞうに たべて おめでとう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>「け」</p> <p>けいとの てぶくろ ぽっかぽっか</p> </div> </div>	編集の具体的方針(2)(3)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
1下	66-67		修正	<p>「おみせやさん ごっこをしよう」 (おみせやさんごっこの様子を次のように修正した後各会話を掲載)</p> <p>がっきの おみせ うって いる もの — たいこ, すず, カスタネット, ふえ, もっきん, トライアングル, 鍵盤ハーモニカ, タンブリン</p> <p>□ の おみせ うって いる もの — バナナ, りんご, いちご, みかん</p> <p>おはなの おみせ うって いる もの — すいせん, すみれ, きく, チューリップ, ゆり, ばら</p> <p>□ の おみせ うって いる もの — ひらめ, あじ, たこ, さんま, たい</p>	編集の具体的方針(2)による。
	68-69		修正	「かたかなの かたち」(字形を点線文字で挿入)	編集の具体的方針(2)(3)による。
	68		削除	付録の「カタカナとひらがな」を見て、似ている形の字をさがしましょう。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	69		修正	<p>「かたちに きを つけて かきましょう。」(次のように修正)</p> <p>つぎの ことばはかたかなで かきます。 ネクタイ デパート ユニホーム ガラス ソース カヌー パン スリッパ</p>	編集の具体的方針(2)(3)による。
	80-81		修正	<p>「たぬきの 糸車」 (挿絵を削除し, 文章化)</p> <p>(1)たぬきが やぶれしょうじの あなから のぞいて いる ところ (2)たぬきが わなに かかっている ところ (3)たぬきが じょうずな 手つきで, 糸を つむいで いる ところ (中点に替えた(1)(2)の文を修正)</p> <p>(1)すきな ところを さがして みましょう。 (2)すきな ところの 文を うつしましょう。</p> <p>ゆうき「たぬきを にがして いる ところを かこう。たぬきは, きっと, 『糸が たくさん できたよ。おもしろかったな。』って いったよ。」</p> <p>おはなしの じゅんに つなげると, あたらしい「たぬきの糸車」をつくる ことも できますね。</p>	編集の具体的方針(2)による。
	85	下段 3-5	修正	(文を次のように修正, 挿絵は削除) カードに, もんだいを かきます。さいごに こたえを はっぴょう します。	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
1 下	96-97	3-4	修正	「にて いる かん字」 (課題文を修正し、各漢字は読みと点線文字で掲載) 1. 次の文の「…」のところは、形のよく似た漢字です。 (1)「かい」を 「み」つける。 (2)「ひと」が 「は」って くる。 (3)「みぎ」あしで 「いし」を ける。 (4)「はや」おきをして、「くさ」とりを する。 (5)「がっ」こうで も「じ」を ならう。 2. 似ている漢字 貝 見 人 入 右 石 早 草 学 字 右 左 土 上	編集の具体的方針(2)(3)による。
	118	8	修正	(文の修正) 写真などでおもい出したり、……	編集の具体的方針(2)による。
	120	下欄	修正	(下段の内容を以下のように修正) 次の順に書きましょう。 (1)したこと、あったこと (2)いわれたこと、いったこと (3)おもったこと	編集の具体的方針(2)による。
	巻末		追加	「おぼえておきたいかん字」 (1年生配当漢字の中から次の漢字を点線文字で掲載) 大 犬	編集の具体的方針(3)による。
2 上	14	下段	修正	本はともだち (書名のみを第一カギで囲んで掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	15		修正	(挿絵を削除し、文章化して掲載) 次の(1)と(2)を、「・・・と」でつないで、文にしましょう。 (れい) (1)はるかぜがふく (2)たけやぶがゆれる はるかぜがふくと、たけやぶがゆれる。 (1)ぼたんをおす (2)かえるのおもちやがとびだす (1)水の入ったコップに氷を入れる (2)コップの水があふれる	編集の具体的方針(2)による。
	16-17		修正	(きせつのことば) 「はるがいっぱい」 (挿絵を削除し、挿絵毎の言葉を列挙。最後に、すみれ・ちよう・つくしの点図を挿入)	編集の具体的方針(2)による。
	18-19		修正	「今週のニュース」(掲示板のニュースに対する感想は、ニュースの後に「…さんへ」と付記し、書いた人の名前は、第1カッコで囲んで掲載)	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
2上	20-25		修正	「たんぼぼのちえ」(たんぼぼの花・拵がった綿毛・すぼんだ綿毛の点図を挿入)	編集の具体的方針(2)による。
	26-27		修正 修正 削除	2. 「あなたが考えたことも書きましょう」の後、表の前に「わけを表す言い方」(1)(2), 「考えたことを書くときつかってみましょう。」(1)～(4)を, 掲載 ・表は, (はじめ)・(中)・(おわり)に整理し, 太線で囲まれた書き出しの項目は, 読点を削除し, 第1カギで囲んで示した。	編集の具体的方針(2)による。
	29		修正	「かん字のひろば①」 [資料3]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	31-34		削除 修正	「かんさつ名人になろう」(写真・挿絵を削除) ・観察記録の前に, 「観察記録 ざりがに」「観察記録 かたつむり」「観察記録 ミニトマト」と表題をつけた。 ・欄外の注意事項(1)～(3)は各表題の直後に掲載した。	編集の具体的方針(2)による。
	32		修正	(「観察記録 ざりがに」欄外の文を, 修正) ていねいにかんさつしていることがわかることを書き出しましょう。	
	33		追加	(「観察記録 かたつむり」欄外(3)の文頭に, 付加) 「気がつきました」は, 気がついた時に…	
	36-37		修正	「いなばの白うさぎ」 (36頁の後に, 119～121頁を掲載)	編集の具体的方針(2)による。 ※文字が掲載されているが, これは児童に文字を「読む」ことを強要するものではないので指導においては留意して欲しい。
	38		修正	(本はともだち)(挿絵を削除し, 北から書名のみ第1カギで囲んで掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	39		修正	「かたかなのひろば①」 [資料4]	編集の具体的方針(2)による。
	40-41 42	1 上段	削除 追加 修正	「ともさんはどこかな」(挿絵は削除) まいごのお知らせをよく聞きましょう。 1. ともさんをさがすために聞きおとしはいけない いだいじなことはなんですか。	編集の具体的方針(2)による。※「大事なことを落とさずに, 話したり聞いたりする(話す・聞く)教材」として, 挿絵の中から指示通りの対象を探し出す過程は削除した。指導に当たっては, 教材の意図をより効果的に児童に伝えるために, 適切な触察教材等を指示通りに探し出すなどの代替案の工夫が望ましい。
	下段	修正	3. つぎのメモを読んで, えんそくのもちものを, ともだちにれんらくしましょう。 (持ち物の挿絵を削除して言葉にして掲載) 持ち物 おべんとう すいとう しきもの あまがっば		
43	上段				

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
2上	43	下段 2・9 10	修正 削除 修正	「おんの高さ」 ・「雨（あめ）」を、ふる「あめ」と修正 ・「ひらがなで書くと」を削除 (挿絵を削除し、文章化して掲載) 次の例も考えてみましょう。 わたる「はし」 食べる時に使う「はし」 たてものの「しろ」 いろの「しろ」	編集の具体的方針(2)による。
	44	5-6	修正	「同じぶぶんをもつかん字」(課題文を修正し、漢字を、第1カギを付けた読みと点線文字で掲載) 次の「…」を付けた漢字で、同じ部分を探しましょう。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	45	上段	修正	林 森 木 村 休 本 (課題文を修正) 次の「…」を付けた部分は形がよくにたかん字です。	
	49, 55		修正	「スイミー」(「まぐろに追われているスイミー」と「大きな魚のふりをしたスイミーたち」の点図を挿入)	編集の具体的方針(2)による。
	57	下段	修正	・☆印は削除し、(学習を広げる)と修正した。 ・(書く)の傍線は第一カギに囲んで示した。	編集の具体的方針(2)による。
	59			「かん字のひろば②」 [資料5]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	60			「お話のさくしゃになろう」 (挿絵を削除し、挿絵を文章化して掲載) (はじめ) あさ、木の上にすんでいる虫が、すから出てきました。 (中)  (おわり) ゆうがた、虫がもとのすにもどりました。	編集の具体的方針(2)による。
	61	1 4~	修正 削除 修正	(はじめ)と(おわり)は、前の文に合わせて書きましょう。 (中)で、どんなできごとが起こるかを、考えましょう。 ・挿絵を削除し、主語を「虫が、」として1. ~4. の文章にした。	編集の具体的方針(2)による。
	63	7-8	修正	たしかめよう 文字のまちがいはありませんか。 「わ」「を」「え」は、正しくつかえていますか。	編集の具体的方針(2)(3)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
2上	65	下段	追加修正	<p>「まる、てん、かぎ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普通文字のきまりについて追加した。 <p>ふつうの文字にはますあけのきまりがありません。また「わたしわ」の「わ」は、「わたしは」とかきまです。</p> <p>そのため点（㉟）をうつところがちがうと文のいみが正しくつたわらないことがあります。</p> <p>(1)このみせでは(わ)きものを買う。 (2)このみせでわ(は),きものを買う。 (3)このみせで,はきものを買う。</p>	<p>編集の具体的方針(3)による。</p> <p>※点字表記の指導上大切な留意点を追加して修正した。</p>
	87 88-89 90-91		修正 修正	<p>「お話の国の友だち」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次の本の題名から、読みたい本を二さつえらび、ノートに書きましょう。 ・書名のみを第1カギでくくって示した。 <p>「本の中で見つけた友だちは、どんなじんぶつでしたか。」の直後に「じんぶつがしたことから、どんなじんぶつかを考えましょう。」と(1)から(10)を掲載。その後、以下の文を掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. どんなじんぶつか 2. ほんのだいめい(題名は、第一カギで囲む。) 3. さくしゃ 4. じんぶつがしたこと 5. かんそう 	<p>編集の具体的方針(2)による。</p>
	93		修正	<p>「かん字のひろば③」 [資料6]</p>	<p>編集の具体的方針(2)(3)による。</p>
	94-95	最後	修正 削除	<p>(きせつのことば)「なつがきた」 (挿絵を削除し、挿絵毎の言葉を列挙。最後に、くわがた虫の点図を挿入) 「文に絵を添えて」は、削除した。</p>	<p>編集の具体的方針(2)による。</p>
	98		修正	<p>「あったらいいなこんなもの」 (ドラえもんは点図で挿入)</p>	<p>編集の具体的方針(2)による。</p>
	101	中段	修正	<p>(波線部は削除し、次のように修正) 「いつでもとべるん」(ゆっくり)</p>	<p>編集の具体的方針(2)による。</p>
		下段		<p>(欄外部分に追加) 田中さんの考えたこと 「いつでもとべるん」一名前を…… 「小さくたためる」— いい思いつきだから、… 「とおくまですぐに」— このあたりで、早口に… とおくにいるおばあちゃんに会いたい—わけは、…</p>	<p>編集の具体的方針(2)による。</p>
	102 103		修正	<p>(「3. はっぴょう会をひらきましょう。」の直後に「教室にいるみんなに聞こえるように、はっぴょうしましょう。」の(1)～(3)を掲載)</p>	<p>編集の具体的方針(2)による。</p>

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
2上	104	上段	修正	「カンジーはかせの大はつめい」 (「門」と「日」で「間」になることを点線文字で示し、説明文も付加) 1. 次の「…」をつけた二つの漢字を入れると、新しい漢字ができあがります。 「田」と「力」で「男」 「山」と「石」で「岩」 「日」と「生まれる」で「星」 「糸」と「会う」で「絵」	編集の具体的方針(2)(3)による。
	105	下段	修正	2. 「 」をつけた漢字の矢を弓で飛ばすと、次の漢字的に当たりました。どんな言葉ができますか。 「はな」→「ひ」 「はなび」 「さき」→「うまれる」 「せんせい」 「な」→「まえ」 「なまえ」 「ただしい」→「もん」 「せいもん」 「け」→「いと」 「けいと」	編集の具体的方針(2)(3)による。
	116		修正	「どうぶつ園のじゅうい」 (表の各項目毎に改行し、小見出し符を付けて掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	122		修正	「思ったことや感じたことをあらわすことば」 (右上から左下に順にことばを並べた)	編集の具体的方針(2)による。
	123	最後	修正	(上部分の正の気持ちを表す言葉、下部分の負の気持ちを表す言葉の順に掲載) 「これは」を「次の言葉は」に修正した。	
	巻末		追加	「おぼえておきたいかん字」 (「おぼえておきたいかん字」として、1年生配当漢字の中から次の20の漢字を点線文字で掲載) 目 耳 手 足 口 円 文 正 王 玉 男 女 米 先 生 糸 車 虫 草 花	編集の具体的方針(2)(3)による。
2下	16	下段 3	修正	「お手紙」 ・「書き入れましょう」は、「2. 書きましょう。」と修正した。 ・ノート例中の小さな文字で書かれた項目は、()で囲み小見出し符の後に該当部分を示した。	編集の具体的方針(2)による。
	19-20	上段	修正	「主語と述語」 ・文節末に()で囲んで、添え字を示した。 (1)がまくんが(だれが) 言いました(どうした)。 (2)かえるくんは(だれは), まどからのぞきました(どうした)。 (3)お手紙が(何が) 来る(どうする)。 ・傍線と波線は削除し、それぞれ(主語)(述語)と文節末に掲載した。 (挿絵を削除し、状況説明を付加) 女の子が頭に手をやって「ぼうしが。」 せんせい「どうしたの」	編集の具体的方針(2)による。
	20	下段	修正 追加		

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
2下	21	下段	修正	「かん字の読み方」(「前の文の中には二つのかん字が3回ずつ出てきました。次の「 」をつけた部分は同じ漢字です。」と修正)	編集の具体的方針(2)(3)による。
	22		修正	・「上」と「下」の読みと点線文字を掲載し、送り仮名部分には第二つなぎ符を付けた。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	23	上段	修正	「漢字の下に」を「つなぎ符の後に」に修正した。	
	25	1	修正	「秋の一日」(「絵と言葉を見て」を「言葉を読んで」に修正し、トンボと葡萄の点図を挿入)	編集の具体的方針(2)による。
	28		修正	<p>はやしさん</p> <p>(1)言ったこと 「」</p> <p>(2)いつもしていること 走っている。 せとさん</p> <p>(3)みかけたこと 花に水をやっていた。</p> <p>(4)してくれたこと けしごむをかしてくれた。</p>	編集の具体的方針(2)による。
	30-31		修正	「見つけたよいところを文章に書きましょう。」(直後に、欄外の内容を掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	32		修正	「かたかなのひろば②」 [資料7]	
	33	上段	修正追加	「かたかなで書く言葉」(カタカナは第1カギで囲み掲載) 次の「…」を付けた言葉は、普通の文字ではかたかなで書きます。	
	34-35		削除修正	<p>「しかけカードの作り方」(カード写真削除、文章化)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>ピクニックに出かけよう</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>おじいちゃん おたんじょうびおめでとう。 なみより</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1ねん1くみの あらきよしあきさんえ 21にちの1じかんめと2じかんめに、 たいいくかんであきまつりをします。 ぼくは、どんぐりでネックレスをつくりました。 あそびにきてください。 2ねん2くみ おおかわ けんより</p> </div>	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
2下	35	1-3	修正	「しかけカードの作り方」(文を次のように修正) ここに、ひらくと、飾りが飛び出す仕掛けのカードの写眞があります。	編集の具体的方針(2)による。
	36-37	2	修正	(カードの作り方の図を削除し、文を修正して掲載) 画用紙を縦長に置き、上と下のはしを合わせ、半分におって、おったほうから、まん中に切りこみを2本入れます。	
	38	6 上5 下段	削除 修正	「しゃしんのように」を削除 「写眞を見て」を「説明から」に修正 (吹き出しの文を修正して掲載) ひろの「できあがったカードの見本がはじめにあってよかった。」	
	39	下段	修正	「おもちゃの作り方」(写眞を削除し、言葉で掲載) (生活科や図画工作の時間に作ったおもちゃ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> マラカス けん玉 おきあがりこぼし どんぐりごま ぶんぶんごま ぴよんぴよんがえる ストロートンボ 風で動く車 コムで動く車 ヨット </div>	編集の具体的方針(2)による。
	40-41	下段	修正	「けん玉の作り方」(挿絵は削除し、傍線部は第1カギで囲む。欄外は作り方の後に文を修正して掲載) 2. 「その毛糸をはさむようにして、もう一つの紙コップをのせます。」は「上から……。	編集の具体的方針(2)による。
	43	欄外	修正	「きみたちは図書館たんていだん」 注 コンマ(説明を修正) ふつうの文字で横書きのときは、読点のかわりにコンマをつかうことが多い。	編集の具体的方針(2)(7)による。
	44	上段		(図書館地図の例) (簡略化して点図で掲載)	
	46	上段 7 12		(下段の文は句点を取り段落最初に掲載) どうやって探したか—この『地図を指しながら』… 気がついたこと—気がついたことは…	編集の具体的方針(2)による。
	60-61		修正	「わたしはおねえさん」 ・が複数ある場合は、(あ)(い)と修正した。	編集の具体的方針(2)による。
	63		修正	「かん字のひろば④」 [資料8]	編集の具体的方針(3)による。
64-65		修正	「たのしい冬」 (126~133ページの「十二支のはじまり」を挿入)	編集の具体的方針(2)による。	
68	5	修正	「ようすをあらわすことば」(写眞を削除し、文を修正して掲載) ここに大雨が降っている写眞があります。	編集の具体的方針(2)による。	
70	5	修正	右の → この		

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
2下	74-75		削除	「三まいのおふだ」（挿絵を削除し、134～140ページの文章を挿入）	編集の具体的方針(2)による。※文字が掲載されているが、これは児童に文字を「読む」ことを強要するものではないので指導においては留意して欲しい。
	82	上段	修正	「おにごっこ」（吹き出しの文は次のように修正） こんの「はじめに、次のようにノートに書いてから、考えよう。」	編集の具体的方針(2)による。
	89		修正	「かん字のひろば⑤」 [資料9]	編集の具体的方針(3)による。
	90	下段	修正 追加	「なかまのことばとかん字」（挿絵は削除し、項目ごとに言葉を並べ、次の漢字を点線文字で掲載。） 百 千 万 父 母 子 ・「家の人」のうち、「わたし」には（女の子）と付加。 ・「一日」について、午前と午後はそれぞれ午前（朝から昼まで）と午後（昼から夜まで）と付加。	編集の具体的方針(2)・(3)による。
	109 110	上段 下段	修正	「スーホの白い馬」 （枠の前に「だいじなところ」と題を付加） （枠の前に「ひろのさんの紹介文」と題を付加、「あらすじ」の言葉は削除） （枠の前に「こんのさんの紹介文」と題を付加）	編集の具体的方針(2)による。
	113	5 6 7	修正	「ことばを楽しもう」（文を以下のように修正） 前から読んだり、後ろから読んだりしましょう。 次の（ ）内は、後ろから読むときにつかいます。 ぞーくんぱんくうぞ（ぞうくんぱんくーぞ） きんのはとわのんき（きんのわとはのんき）	編集の具体的方針(2)による。
	115	下段	修正	「楽しかったよ、2年生」（文を修正し掲載） ノートや絵、写真などから決めてもいいですね。	編集の具体的方針(2)による。
	118 -119	欄外	修正	「下書きを書きながら考えていること」 （欄外の部分は、内容上から下書きの前と後に分けて掲載。 指示箇所は、語句を考えた内容の中に引用して示した。	編集の具体的方針(2)による。
	120		修正	「たしかめよう」（文を以下のように修正して掲載） 1. ゃ (まる) ゃ (てん) ゃ ゃ (かぎ) は、正しくつかえていますか。 2. 「わ」「を」「え」や「しゃ しゅ しょ」やつまる音は、ただしくつかえていますか。 3. マスあけは正しくできていますか。	編集の具体的方針(2)による。 ※ 点字表記の指導上大切な留意点を追加して修正した。
	121		削除	（「カタカナ」一覧を削除した。）	

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
2 下	122 -125		修正	「この本、読もう」（題名・作者・紹介文を掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	巻末		追加	「おぼえておきたいかん字」（「おぼえておきたいかん字」として、2～4年生配当漢字の中から次の25の漢字を点線文字で示した。） 雨 空 天 弓 刀 牛 魚 肉 言 工 士 立 止 力 出 早 夕 心 青 白 年 中 小 町 丁	編集の具体的方針(2)(3)による。
3 上	6	下段	修正	「いつも気をつけよう」（語の横の○印による強調を「」囲みに修正）	編集の具体的方針(2)による。
	9	7	修正	「きつつきの商売」（太字を第1指示符で囲み、掲載） おとや	編集の具体的方針(2)による。
	12	欄外	追加	「きつつきの商売」欄外の「たちつぼすみれ」の挿絵は削除し、以下の説明文を脚注として追加 たちつぼすみれ — 春、うすむらさき色の花をつける草花。花が咲いた後、伸びて、30センチメートルぐらいになる。	編集の具体的方針(2)による。
	15	欄外	削除	「きつつきの商売」（欄外の「々」の脚注を削除）	編集の具体的方針(2)による。
	20	上段 下段	修正 削除	「2. 工夫して音読をしましょう。」 (文を修正して掲載) 「私が読むところに、読み方を書いておこう。」 (枠内の「見えるもの」という語句を削除)	編集の具体的方針(2)による。
	22		修正	「ノートとなかよくなるう」 (野口さんのノートを資料のように修正) [資料10]	編集の具体的方針(2)による。
	24 25 26	上1 下段 下10	修正 削除 修正 追加	「国語辞典の使い方」 (国語辞典の例を資料のように修正、欄外の50音は削除) [資料11] (1文目を修正し、つめとはしらの説明を脚注に掲載) 普通の文字の辞典では、見出し語をさがすときは、「つめ」や「はしら」を使います。 つめ — ページを捲る側に付けられているもの。 「あ」のところには、…。 はしら — ページの上のすみにあり、そのページにある、…。 (文を修正して掲載) …「しいる」「すうぶ」のように伸ばすところが「あい う え お」におきかえられて、並んでいます。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	26	上3		(文を修正して掲載) 国語辞典では、ふつう、「書く」「赤い」「静か」のような形が見出し語になっています。	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3上	26	下5	修正	(語句を修正して掲載) (しずかに) 「くらす(ひらがな)」と(あかるい) 「クラス(カタカナ)」	編集の具体的方針(2)(3)による。
	27	上12-下	修正	「漢字の音と訓」(文を修正し、例語はそれぞれ該当の語に第1カギを付けて掲載) たとえば、前の文の「…」をつけた部分の漢字には、次のような二通りの読み方があります。	編集の具体的方針(2)による。
	28	上7-11 上16	修正	(文を修正し、掲載) たとえば、中国では、「サン」というような発音で読んでいる漢字がありました。そこで、日本でも「サン」とよみました。これが「音」です。 その「山」という漢字が……。これが「訓」です。 それで、この漢字には、「さん」という「音」と「やま」という「訓」の、二つの読み方があるのです。	編集の具体的方針(2)による。
	29	上3 上6 下3	削除	(以下の部分を削除) 教科書の付録も活用しましょう。 吹き出し部分の「付録で」 付録を使って確かめましょう。	編集の具体的方針(2)による。
	34		修正	「きちんとつたえるために」 [資料12]	編集の具体的方針(2)による。
	37		修正	「漢字の広場 2年生で習った漢字①」 [資料13]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	38-39		修正	「イルカのねむり方」(傍線部及び下段の説明について、以下の説明を付加し、本文の後に挿入) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">(2)の段落では、次のことが書かれています (どうやって調べたのか) → 「一日中…しました。」 (何がわかったか) → 「いくらみても、…ありませんでした。 (どう考えたか) → 「これでは、…わかりません。」</div> 1. どんな「問い」が、どの段落に書いて…ありますか。 2. (3)(4)の段落でも、(2)の段落と同じように、どんなことが書かれているか抜き出してみましょう。	編集の具体的方針(2)による。
	46 47	下段 上9-	修正 追加	「ありの行列」(下段の表を修正し、本文2.の前に挿入) [資料14] 働きを考えるための言葉について、該当ページ追加	編集の具体的方針(2)による。
	49			「声に出して楽しもう」(歴史的仮名遣い部分は、現代仮名遣いのみで掲載)	編集の具体的方針(2)(3)による。 ※歴史的仮名遣いは、学年を考慮し、現代仮名遣いのみで書き表した。

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
3 上	50			「いろは歌」を読んでみましょう。(脚注を追加) うゐの — ういの ゑひも — えひも	編集の具体的方針(5)による。
	51		修正	「漢字の広場 2年生で習った漢字②」【資料15】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	52-53		削除 修正	「気になる記号」(イラストを削除し,説明を付加) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 家の中で 様々なリサイクルマーク 洗濯マーク 通学路で 横断歩道マーク 車両進入禁止マーク 横断歩道マーク 自転車通行止めマーク 自転車および歩行者専用マーク 通学路マーク 禁煙をしめすマーク </div>	編集の具体的方針(2)による。
	54	2	修正	(イラストを説明する文を追加し,3の前に挿入) 西山さんが,2つのカードを比べています。	編集の具体的方針(2)による。
	56	2	修正	(本文各段落末に段落番号を付加,本文前に以下の説明を追加) ☺☺☺ 各段落の最後の(1)~(7)の数字は,西山さんの文章を学ぶために後からつけたものです。	編集の具体的方針(2)による。
	57	6-10	修正 追加	(イラストを削除し,○囲み数字を「○枚目の絵」と修正。3枚目の絵の説明を以下のように修正) 3枚目の絵は,少しかわっています。これは,方向や場所をしめしているのではありません。丸の中に20と書かれた道路ひょうしきの下についていた矢印なのですが,全体で「ここからは,時速20キロまでで走りなさい。」という意味だそうです。 (下段の説明にはそれぞれ「段落(1)」「段落(2)」「段落(3)~(6)」と付加)	編集の具体的方針(2)による。
	59	上2 上8	追加 修正	「符号など」(以下のように追加) 符号など(おもに普通の文字で縦書きにする場合) 《横書き》(以下のように修正) 「おもに横書きの場合」	編集の具体的方針(2)(3)による。
	60-61			「ばけくらべ」(130-133ページの「ばけくらべ」の文章を挿入)	編集の具体的方針(2)による。
	80-81		修正	「本はともだち」(3年より,書名を第一カギ,作者を第1カッコで囲んで掲示)	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
3 上	82		修正	「漢字の広場 2年生で習った漢字③」 [資料16]	編集の具体的方針(2)による。
	83	下段	修正 追加	「手紙を書こう」(「手紙の型」は、点字の形式にあわせ、修正・追加) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 1. 前付け 2. はじめの挨拶 3. 本文 4. 結びの挨拶 </div> 前付けは、後付にする場合もあります。	編集の具体的方針(2)による。
	84	上中 段	修正	(点字の手紙の形式にあわせて本文の記載順序を入れ替え、後付を「1. 前付け」とし、残りの番号を変更。)	編集の具体的方針(2)(3)による。
	85		修正 追加	(「はがき」「ふうしょ」のイラストを削除し、「はがきや封書の宛名の書き方」として点字の形式を挿入) [資料17] (あて名の書き方)の後に、(普通の文字で書く場合)と付加した。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	88		修正	「本はともだち」(イラストを削除し、「本の仕組み」の説明を挿入) [資料18]	編集の具体的方針(2)による。
	91	下17	修正	(文を修正) 自分も、この言い方を使ってみたいと思うところを書き出しましょう。	編集の具体的方針(2)による。
	92 102	3 5	修正	「いろはにほへと」(太字を第1指示符で囲み、掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	104	7	追加	「私と小鳥とすずと」(脚注の追加) じべた — ここでは「地面」という漢字が使われている。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	112- 113	下段	修正	「わたしたちの学校行事」(赤字及び傍線は第1指示符で囲み、掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	116	上段 下 2・3 8	削除 修正 削除	「へんとつくり」(イラスト及び「次のカードを～なりますか。」の文を削除) (さんずいの字形表記) 「さんずい」とかな表示 ・字形は削除し、「さんずい」は、に修正	編集の具体的方針(2)(3)による。
	117	上段 下5 下9	削除 修正	「へん」の例(字形のみ削除) ・おおがいの字形は削除し、「おおがい」に修正 (文を修正) 「動__く」「助__ける」のつくりは、「ちから」という字です。	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3上	125(1)		追加	「ローマ字」(次の文字を点線文字で挿入した。) A I U E O K S T N H M Y R W a i u e o k s t n h m y r w	編集の具体的方針(2)(3)による。
	122(4)	6	修正	(文を修正) のばす音は、…のばす音の前にㇿの点を付けて書き表します。	
	120(6)		追加	「いろいろな国の文字」(写真を削除し、説明追加) 空港のトイレの看板や、消火器の説明には、日本語、英語、韓国語、中国語などが使われています。	
	134	14	修正	「コンピュータのローマ字入力」(文の修正) 3. のばす音は、次のように入力します。点字の書き方や「ローマ字のきまり」とはちがうので、注意しましょう。	
	135		削除	「カンジーはかせの漢字学習のすすめ」(削除)	編集の具体的方針(2)による。
3下	22	上8	修正	「ちいちゃんのかげおくり」(文の修正) (1)「言いました」に当たる言葉を見つけて、抜き出しましょう。	編集の具体的方針(2)による。
	23		修正	「漢字の広場 2年生で習った漢字④」 [資料19]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	24-25		修正	「修飾語」(三つの例文に1. ~ 3. と番号を付加、小書きの右側の言葉は第1カッコで囲み、該当の文節の直後に掲載。下段の説明文の「これ」はそれぞれ「1の文」・「2の文」, 「次の文」は「3の文」と修正)	編集の具体的方針(2)による。
	25	1	修正	(文の修正) 次の文を考えて見ましょう。	編集の具体的方針(2)による。
	27-30	4	修正	「すがたをかえる大豆」(文の修正及びダイズに第1カギを付加) 大豆は、植物の「ダイズ」のたねです。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	35	上段	修正	「食べ物のひみつを教えます」(丸川さんのメモの図を削除し、修正して掲載) ----- (丸川さんのメモ) 選んだ材料「米」 おいしく食べる工夫と食品 1. その形のままたく → ごはん 2. <input type="text"/> → もち 3. こなに作る → <input type="text"/> 4. <input type="text"/> → <input type="text"/> -----	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3下	35	下段	修正	丸川さんの言葉（文の修正） … 分かったら、後でまとめよう。もう一つ思っていた。わくを増やして整理して書こう。	編集の具体的方針(2)による。
	38-39		修正追加	「声に出して楽しもう」（歴史的仮名遣い部分は、現代仮名遣いのみで掲載。歴史的仮名遣いの表記は脚注に掲載） よことー — 昔の書き方では、「よこたふ」。 ちるらん — 昔の書き方では、「ちるらむ」。	編集の具体的方針(5)による。
	40	上段 下段 上段	修正	「漢字の意味」（課題文を次のように修正し掲載） 次の文を読んで、(1)と(2)のどちらを思い浮かべますか。 人形に「はな」をつける。 (1)飾りの「はな」 (2)顔にある「はな」 (課題文を次のように修正) 「…」のついた言葉に当てはまる漢字を考えましょう。意味を二通り考えられましたか。 1. 「は」がきれいだ。 2. 「ひ」にあたる。	編集の具体的方針(2)による。
	41	上 1-5	差し替え	「次の文を読んでみましょう。」（5行目までを削除し、以下の文章に差し替え） 次の文を読んでみましょう。 ふたえにしてくびにつけるアクセサリー ふたえに して くびに つける アクセサリー ふたえに し てくびに つける アクセサリー マスあけの位置によって、意味が変わることがあります。	編集の具体的方針(2)による。
		上7- 下段	修正	「次の文の <input type="text"/> には、（ ）の中のどちらが当てはまるでしょうか。」（課題を修正し、漢字を削除。課題に関する部分を第1カギで囲んで掲載） 次の文の「 」をつけた部分は、同じ音でも違う漢字を使います。	編集の具体的方針(2)による。
	55		修正	「物語を書こう」（「れい」は、上段の順に掲載。考えることは、列挙して掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	56		修正	「（南さんが書き出したメモ）」（ブレインストーミングの各項目について、「いつ どこで だれが なにを なぜ どのように それから、どうなった。」の順に、資料のように修正し掲載）【資料20】	編集の具体的方針(2)による。
	59		修正	「漢字の広場 2年生で習った漢字⑤」【資料21】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	65	下段	修正	「にた意味の言葉、反対の意味の言葉」（イラストを削除し、言語化して掲載。年上の兄弟、男の兄弟の順と帽子、トレーナー、ズボン、靴下、靴の順に掲載）	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3下	73	下1	修正	「詩を楽しもう」（文の修正） 詩に合った絵などをそえたり，詩人のしょう	編集の具体的方針(2)による。
	75-79		削除	(挿絵は削除)	
	83	下3-5	修正	「しりょうからわかったことを発表しよう」（文の修正とグラフを表にして掲載） ・…次のような表を見つけました。 二つの表から，どんなことが分かりますか。… ・グラフを表で示し，「小学生に人気があるスポーツ調べ」，「表1 するのが好きなスポーツ」，「表2 見るのが好きなスポーツ」の順に掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	86		修正	「次の2枚の写真を見て，分かったことをノートに書き出しましょう。」（写真を削除し，次のように文章化し掲載） 給食が始まった頃の話，先生や周りの人に聞いて，今の給食と比べてみましょう。分かったことはノートに書き出しましょう。	編集の具体的方針(2)による。 ※学習の目的上，文章化が不適切であるために，課題の変更を行った。指導に当たっては，掲載された写真について児童の実態に合わせた情報も加えて欲しい。
	87		修正	「漢字の広場 2年生で習った漢字⑥」【資料22】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	91	下段	修正	「本で調べて，ほうこくしよう」（文を修正し掲載） 背からさがす	編集の具体的方針(2)による。
	92	中段	修正	「<山野さんが答えを見つけるまで>」（文の挿入と修正） 「（調べた結果）そうか。昔，紙が発明される前にあった『本』のことなのか。」	編集の具体的方針(7)による。
	93	上段	修正	「5. よし読んでみよう。」（上段の吹き出し部分は，（読みながら思ったこと）とト書きを入れ，それぞれ点線で繋げて一つの発言として表示）	
	95	上段	修正	「自分の言葉でまとめる」（傍線を削除し，本文の後に傍線部を抜き出し，説明を付加） メソポタミア — どこのことだろう。→ わからないことは，辞典などで調べる。 豊富 — むずかしい言葉だ。→ 難しい言葉は，辞典などで調べる。 絵文字は，次第にかんたんになり，やがて「くさび形文字」になりました。くさび形の文字は，アシ… — ここにかいてあるのは，文字のことだからいらない。 → 問いにかかわるところを中心に読んでいく。	編集の具体的方針(2)による。
	96	上4	追加	「カンジーはかせの音訓遊び歌」（課題文の後に次の文を追加） 「 」のついた言葉は同じ漢字です。	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3下	97	下段	修正	「吹き出し」(文を修正して掲載) ふたば 「その漢字にどんな読み方があるかを確認したい時は、「新しく学習する漢字」を参考にしよう。	編集の具体的方針(2)による。
	116-119		修正	「この本、読もう」(題名・作者・紹介文を記載)	編集の具体的方針(2)による。
	130-133 下135		修正	「百人一首を楽しもう」(歴史的仮名遣い部分は、現代仮名遣いのみで掲載。歴史的仮名遣いの表記は脚注に掲載) [資料23]	編集の具体的方針(5)による。
	136		削除	「カンジーはかせの漢字学習のすすめ」(内容を削除)	編集の具体的方針(2)による。
4上	4	4-5	修正	「春のうた」(2行を第1段落挿入符で囲んで掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	18	下段	修正	「白いぼうし」(表は場面ごとに縦の項目について列挙、項目と内容の間は傍線で繋ぎ、空所部分は空欄符号で掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	19	上10	修正	▼ 一線の言葉が(言葉の修正) 5. 「…」の中の言葉が	編集の具体的方針(2)による。
	22-23		修正	「漢字の組み立て」(部首の位置は点図で、次の部首の形は点線文字で掲載。各熟語例のうち、該当する漢字には第1カギを付けて掲載) [資料24] くさかんむり うかんむり たけかんむり あめかんむり こころ れんが(れっか) しんにょう(しんにゅう) まだれ くにながまえ もんがまえ	編集の具体的方針(2)(3)による
	24	中段	削除	「漢字辞典の使い方」(漢字辞典「登」の例は削除)	編集の具体的方針(2)(3)による。
	25	上13-15 下6-11	修正 修正	「部首について」(文の修正) 「かい(ひら__く)」という漢字は、門が左右に開かれる様子を表しているので、「もんがまえ」が部首になります。いっぽう、「ぶん(き__く)」は、耳という漢字で話を聞き分けることを表しているので、(文を修正し、以下の漢字は読みに加えて、点図も掲載) 区 池 子 近 画を数える時に、「区」の4画目のような「おれ」や「池」の6画目のような「曲がり」は、1画と数えます。 また、「子」の1画目と2画目のように、一続きに見えても、2画と数えるものがあります。「近__い」の6画目と7画目は一続きに見えても、6画目7画目と数えます。	
26-27		削除	「音訓索引」「部首索引」「総画索引」(索引例はすべて削除)		

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考	
4上	26	上段	修正	「音訓索引」(吹き出し部分を次のように修正) 中村 訓は「みずうみ」だけど、音はなんだったかな。」	編集の具体的方針(2)(3)による。	
		下段		「部首索引」(吹き出し部分を次のように修正) 北野 「読み方はわからないけど、部首は『にんべん』だと思う。」		
	27	上段	修正	「総画索引」(吹き出し部分を次のように修正) 黒田 「読み方も部首も分からない。」		
		下1-3	修正	(課題文を次のように修正) 1. 次の「…」で示した部分は、それぞれ(…)に示した画数の漢字です。漢字辞典などを使って、漢字の意味と使い方を調べてみましょう。 (1)「しゃ」真家 (5画) (2)作「きょく」 (6画) (3)「はつ」音 (9画) (4)「き」立 (10画) (5)太「よう」 (12画) (6)「ゆう」園地 (12画)		
		下4	修正	(文の修正) 漢字辞典などを使って、「…」の中の漢字の		
	30		修正	「よりよい学級会をしよう」(挿絵を削除し、「困ったこと」と題を付加し掲載)		編集の具体的方針(2)による。
	34	上段	削除修正	「話す言葉は同じでも」(挿絵は削除し、課題文には挿絵の状況説明を付記。会話文には、挿絵の説明となる内容をト書きにして挿入) [資料25]		編集の具体的方針(2)による。
	38-43		削除	「動いて、考えて、また動く」(写真、挿絵は削除)		編集の具体的方針(2)による。
44-45	下15-上2	修正	「読んで、考えたことをまとめよう」(文の修正) それぞれの図を説明している文は、 「ひざを高く引き上げる」 「地面をより強くふむ」 「あしを思い切り後ろにける」 「あしを体の下にしぜんに下ろす」 です。図などを用いていることのよさは、なんだと思いますか。			
47		修正	「漢字の広場 3年生で習った漢字①」 [資料26]	編集の具体的方針(2)(3)による。		
49		削除修正	「いろいろな意味を持つ言葉」(挿絵を削除し、文章化して掲載) (1)「ひく」 かぜを「ひく」 ピアノを「ひく」 つなを「ひく」	編集の具体的方針(2)による。		

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考	
4上	49	下段	修正	(2)「かける」 めがねを「かける」 洋服を「かける」 電話を「かける」	編集の具体的方針(2)による。	
	52～53		修正	「読書生活について考えよう」(棒グラフを表に修正、数値は桁揃えにし、表2-4では項目と数値を2の点で繋げ、検索性に配慮して掲載)	編集の具体的方針(2)による。	
	54	上段	修正	「アンケート調査をし、結果について考えよう。」 (文の修正)	編集の具体的方針(2)による。	
		下段	修正	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>あ。 答えを文章で書き込むもの。 (問い) …ですか。次から選んでその番号を書いてください。</p> <p>(答え) </p> </div> <p>い。 用意された答えの中から選ぶもの。 次から選んで、その番号を書いてください。 1. …… 2. ……</p>		
		56	上段 12	削除 追加	「報告書を作ろう。」(棒グラフを削除し、文に付記) ……しました(省略)。	編集の具体的方針(2)による。
		60	上段 2-6	修正	<p>「まちがえやすい漢字」 (漢字を省略し、言葉を追加) 「きる」— (野菜を)「きる」・(服を)「きる」 「まるい」—「まるい」(ボール)・「まるい」(皿) 「じてん」—(国語)「じてん」・(百科)「じてん」 「かがく」—「かがく」(繊維)・(自然)「かがく」 点字で書くと同じになる言葉は、 (課題文を修正し、訓読みの語には音読みを付記) 2. 次の文では、それぞれ、使う漢字が違います。 「」で示した部分の意味を考えましょう。また、自分でも文を作りましょう。</p> <p>(1) 児童館で友達と「あう」。 音は「かい」 みんなの意見が「あう」。 音は「ごう」</p> <p>(2) 「はやく」きずが治ってよかった。 音は「そう」 足が「はやく」て、追いつけない。 音は「そく」</p> <p>(3) 「かんしん」な行いだ。 ことわざに「かんしん」をもつ。</p> <p>(4) 水泳「いがい」の運動は好きだ。 出席者は「いがい」に多かった。</p>	編集の具体的方針(2)(3)による。
	下段		修正			

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考	
4 上	61	上段 1-3	修正	「まちがえやすい漢字」(文の修正と削除) これまでに習った漢字でも、言葉に馴染みがないと、意味が分からないことが良くあります。	編集の具体的方針(2)(3)による。	
		7-13 下段	削除 修正 修正	(漢字を削除) (課題文の修正) 2. 次の漢字について、読み方ごとに言葉を書き出し、その言葉を使った文を作りましょう。 「べい」さく(べい まい こめ) 「こ」かげ(ぼく もく き こ) しめり「け」(き け) 「は」おと(は はね) (課題文の修正) 次の「 」内は、学校では教わらない読み方です。 (1)「うち」の中 (いえ) (2)「など」 (とう) ワープロソフトを使って普通の文字を書くときに、間違いやすい漢字はありますか。……		
	80	上7	追加	「新聞を作ろう」(新聞の特徴の後に次の文を追加) 普通の文字の新聞では、次のような特徴があります。		編集の具体的方針(2)による。
	81	上11 -13	修正	(文の修正) 記事ごとに下書きをします。文字数を計算しやすいように書くと良いでしょう。		編集の具体的方針(2)による。
		下9	修正	「新聞の作り方」(ていねいな字でを修正) ていねいに		
	82		削除	〈割り付け例〉(削除し、説明のみを挿入)		
	83		修正	漢字の広場 3年生で習った漢字② 【資料27】		編集の具体的方針(2)(3)による。
	84-85		削除 修正	「本は友達」(イラストを削除し、文章化して掲載) 1. 朝、お父さんが新聞を読む。 2. 私は教室で教科書を読む。 3. 帰り道で私は掲示板を読む。 4. 家で本を読む。 5. お母さんがスーパーのチラシを読む。 6. おじいさんが回覧板を読む。 7. 私は手紙を読む。 8. ぼくは時間割を読む。		編集の具体的方針(2)による。
87	上 下7- 8	削除 削除	(ネコのイラストは削除) 「○写真や図などと文章を合わせて読んでいる。」 (削除し、次の項目を2.として繰り上げ)	編集の具体的方針(2)による。		
89	1-2		「北野さんの書いたポスター」((1)~(3)とし、ポスターの後に挿入。「文字の大きさや配色を考える。」の文を修正) (2)書き出し位置や囲み符号を考える。	編集の具体的方針(2)による。		

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
4 上	89		修正	「北野さんの書いたポスター」（イラストは削除し、登場人物を説明する言葉を名前の前に追加） (1)「旅の始まり」― 少年ケンとの出会い。 (2)「キララの家へ」― 猫のナギヒコに頼まれて危険な海へ。 (3)「やまねこの島」― 少女ミリに助けられる。 (4)「黒い海賊船」― サンゴロウに憧れる猫のイカマル。 (5)「霧の灯台」― 灯台守の猫のカイ。	編集の具体的方針(2)による。
	100 101- 103	下	追加	「カンジーはかせの漢字しりとり」 (吹き出しの話者をわかば、ふたばとして付記) (課題文を修正し、解答を入れて掲載) [資料28]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	111	上段	修正	「(中村さんの分類のしかた)」(時計回りに掲載) ----- 家の中 シャンプー・リンス、 電話、テレビのリモコン 「5」のボタンの上で つぱり (商品少ない。一人一人のことだから?) 道路・外 歩道の点字ブロック 信号の音声ガイド 案内板、ポストの差し入れ口 (多くの人を使う。命に関する) 公共の建物 駅 ― ホームのブロック 図書館 ― 案内地図 公園 ― 地図 市役所 ― 音声ガイド、手すり (多くの人を使う) -----	編集の具体的方針(2)(7)による。
	113- 114		削除	「点字のあいうえお」(削除)	編集の具体的方針(2)による。
	116		削除	「発表のしかた」(イラストは削除)	編集の具体的方針(2)による。
	117		修正	「漢字の広場 3年生で習った漢字③」 [資料29]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	136	上段 中段 下段	削除 修正 修正	「カンジーはかせの漢字学習のすすめ」(本文と「夏」の漢字辞典例、山下の吹き出しを削除。中村と下段の文を修正) 中村「漢字辞典などを使って、漢字の意味や成り立ちを調べてみよう。」 漢字の音と訓を書く。	編集の具体的方針(2)(3)による。

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
4 下	72-73		修正	「季節の言葉 春立つ」（写真を削除し、北から写真の説明文を入れて掲載） 北海道 — 一面の雪景色。地面が雪に覆われている。 東京 — 梅が咲いている。 沖縄 — ひかん桜が咲いている。	編集の具体的方針(2)による。
	74		削除 修正	「ウナギのなぞを追って」（写真・表は削除し、地図の1・3は、略図にして掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	86	下段	修正	「聞き取りメモの工夫」（北野さん、山下さんの考えたことを、それぞれのメモの前に掲載。山下さんの考えたことのうち、「ひらがなの方が早く書ける。」は削除し、メモは以下のように修正） -----; 園芸（委） 楽しみ (1)花や実を早く見られる。 (2)おいしそうと言ってもらえる。 しごと (1)…… (1)・・・ (2)草花の水やり→当番 (3)草むしり 花や植物が好きな人 — おすすめ 虫が苦手な人 — だいじょうぶ -----! 注（委）は委員会の略	編集の具体的方針(2)による。
	89		修正	「漢字の広場 3年生で習った漢字⑤」【資料33】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	90		削除 挿入	「額に柿の木」（挿絵を削除し、P126-130の本文と吹き出しを挿入）	編集の具体的方針(2)による。
	98	下段	削除 修正	「『ことわざブック』を作ろう」（挿絵を削除し、言葉に修正） かるた すごろく げき 新聞	編集の具体的方針(2)による。
	99		修正	「漢字の広場 3年生で習った漢字⑥」【資料34】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	131	上 13-16	修正 削除	「学習に用いる言葉」（樹形図を修正し、掲載） わたしは、京都のおじいちゃんに、長い手紙を書きました。 主語 — 「わたしは」 述語 — 「書きました」 修飾語 — 「きょうとの おじいちゃんに」「ながい てがみを」	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
5年	10-14			「あめ玉」(欄外事項の掲載位置の修正) ・p10-11の▼は、(考えてみよう)として1.～5. p12の▼は、(読んでみよう)として番号を付けずに文章の前に前置する。 ・p13の▼は、p10-13の文章の直後に、(考えてみよう)として1. 2. を掲載し、ページ替えをする。 ・p14の▼は、文末に(考えてみよう)として掲載。	編集の具体的方針(2)による。
	27		修正	「漢字の広場」 4年生で習った漢字① [資料35]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	31	最終行	削除修正	「新聞を読もう」(写真は削除し、文を修正)その部分を発表し合おう。	編集の具体的方針(2)による。
	33		修正	「3. 二つの記事を比べよう」(写真を削除し、文章化して掲載) [資料36]	編集の具体的方針(2)による。
	35	12		「3. 二つの記事を比べよう」(文を修正)答えはページ末にのっています。	編集の具体的方針(2)による。
	36-37		修正	「漢字の成り立ち」 [資料37] 馬 上 米 分 粉	編集の具体的方針(2)(3)による。
	38-39	下段	修正	「見立てる」(下段の1.～5. は、2. に該当ページと行を付記し、文章の後に掲載。あや取りの①②の写真は、図1と図2として点図で挿入) 2. 67ページ17行目に「あや取りを例に」とある。	編集の具体的方針(2)による。
	46 47	上3 上16	修正	「生き物は円柱形」(字数指示の箇所点字のマス数を付記) 点字32マス3行(50字)ぐらい 点字32マス9行(150字)以内	編集の具体的方針(6)による。
	48	上段	修正	「言葉」(傍線を削除し、以下のようにした。) (1)「ミミズやへびは」(主語)、「円柱形だ」(述語)。 (2)「ミミズは」(主語)「円柱形だ」(述語)し、「へびも」(主語)「円柱形だ」(述語)。	編集の具体的方針(2)による。
	51-53		修正	「今も昔も」(竹取物語、枕草子、平家物語は、現代仮名遣い、古文表記、現代語訳の順に3つを併記し、そのあとに解説文を掲載。248～249ページの高名の木登りを、平家物語の後に挿入)	編集の具体的方針(5)による。
	54		修正	「漢字の広場」 4年生で習った漢字② [資料38]	編集の具体的方針(2)(3)による。
56-57		修正	〈活動の手順と注意点〉(太字は第1カギで囲み、▼は、1. 2. として「活動の様子」の前に挿入) 1. 次の例を読んで、きき手の質問で、よいたずね方だと思うところはあるだろうか。	編集の具体的方針(2)による。	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
5年	72-75		移動	「本は友達」(72-73ページは、75ページの後に移動)	編集の具体的方針(2)による。
	74	5～	修正	「百年後のふるさとを守る」(下段「友達の……おこう。」は、[資料39]の後の挿入)	編集の具体的方針(2)による。
	77		修正	「敬語」(文の修正) (イ)「お…になる(ご…になる)」 (イ)「お…する(ご…する)」	編集の具体的方針(2)による。
	79	1	移動	「次への一歩」(「活動報告書の構成」は「活動報告書の例」の前に挿入。)	編集の具体的方針(2)による。
	79-81	3-5 14～	修正	〈活動報告書の例〉 ・第1段落挿入符を付けて掲載 ・上段の囲み部分は各月と内容を傍線で結び、第1カッコを付けて、該当の段落前に掲載	編集の具体的方針(2)による。
	83		修正	「漢字の広場 4年生で習った漢字③」 [資料40]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	87	6, 14	修正	「われは草なり」(歴史的仮名遣いは、欄外注に掲載) かわらずーかはらず ねがうなりーねがふなり	編集の具体的方針(5)による。
	89-90		修正	「カンジー博士の暗号解読」(各記号をアルファベット記号に置き換えて掲載。〈〉は二重カギにし、『』は第1カギにそれぞれ変更) ●はa. □ ▲はb. □ ■はc. □	編集の具体的方針(2)による。
	92	下段	修正	「豊かな言葉の使い手になるためには」 ・(豊かだと思ふこと)(豊かではないと思ふこと)の順に、右から左へ番号を付け掲載し、上段9行目の後に挿入	編集の具体的方針(2)による。
	99	下10-12	修正	「話し合うために大切な言葉」(文の修正) 1. 文中に出てきた次の3種類の言葉には、それぞれ、例として挙げられているほかに、どんな言葉がありますか。 (1)「たずねる言葉」 (2)「理解したということを伝える言葉」 (3)「話に区切りをつけ、次へ進める言葉」	編集の具体的方針(2)による。
100	下10	削除	「和語、漢語、外来語」(語句の削除) …漢語は、ふつう漢字で書き表しますが、仮名で書いてあっても、「音」で読む言葉は漢語です。…	編集の具体的方針(2)(3)による。	
101	上11	修正	(記号の修正) テーマ(ドイツ語)とソング(英語)→テーマソング		

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
5年	124	上6	修正	「漢字の読み方と使い方」(傍線部を第1カギで囲み、文を修正) 1. ~4. の各文の「 」のついた部分はそれぞれ同じ漢字です。このように漢字には複数の音を持つものがあります。	編集の具体的方針(2)(3)による。
		上12 下	修正	「漢字の読み方と使い方」(課題文を修正し、吹き出しを削除) [資料41]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	125	上 1-11	修正	「特別な読み方をする言葉」(文の修正) 漢数字の「しち」に「たな」、夕方の「ゆう」に「ばた」という読みはありません。それなのに漢数字の「しち」と夕方の「ゆう」を書いて、「たなばた」と読むのはなぜでしょう。 古く、中国語では七月七日の夜を漢数字の「しち」と夕方の「ゆう」を書いて「しちせき」と表していました。日本語の「たなばた」にこの漢字2字を当てたところから、特別な読み方が生まれたのです。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	128	上段 3	修正 削除	「天気を予想する」(表を「表1」とし、第2段落の前に挿入。文は修正し、写真と地図は削除) 表1は、翌日に雨が……。	編集の具体的方針(2)による。
	132	下段 2		「1時間降水量50ミリメートル以上の発生回数」(簡略化して表2にし、第2段落の前に挿入。文を修正) 表2は、全国で、1時間に50ミリメートル… [資料42]	編集の具体的方針(2)による。
	135	下6- 11	修正	(文の修正) 2. この文章には二つの表が用いられている。 第1段落で表の説明をしている部分はどこだろう。表から読みとれることが書いてあるのは、どこだろう。表がない場合、読者の反応はちがうだろうか。	編集の具体的方針(2)による。
	136	下3	修正	(語句の修正) 点字32マス17行(300字)以内にまとめよう。	編集の具体的方針(6)による。
	138	上1 下段	削除 修正	「グラフや表を引用して書こう」(語句を削除し、文を修正) 「天気を予想する」では、表を用いることで、……(表の修正) [資料43]	編集の具体的方針(2)による。
	140	7-15	修正	〈例〉(文章の修正) 表は、家庭からのごみの排出量を示したものです。一人1日当たりの排出量と日本全体の排出量を表しています。これを見ると、どちらも2001年を境に、だんだん排出量が減ってきていることが分かります。一人1日当たりの排出量が一番多い2001年と2006年の一人1日当たり…… 「表 家庭からのごみ排出量」(表の修正) [資料44]	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
5年	142	下11	修正	「同じ読み方の漢字」【資料45】 (語句の修正) 辞典などで調べましょう。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	144-145			「声に出して読もう」(現代仮名遣い, 古文表記, 現代語訳の順に併記)	編集の具体的方針(5)による。
	148-149		修正	「わたしたちの『図書館改造』提案」(各アイデアごとに番号を付加し. 帯, ポップ, ブックトークは欄外注として掲載) 【資料46】	編集の具体的方針(2)による。
	151		修正	「コーナーのイメージ図」(語句の修正) (コーナーのイメージ) ----- 「冬休みにお薦めの本」 (ア)表紙がよく見えるように置く。 (イ)「読んでみて」→呼びかけの言葉を書いて, 本に添えておく。 (ウ)本の横に紹介の文章を書いたカードを置いておく。 -----	
	154	12	修正	「千年の釘にいどむ」(文の修正) ここに, 古代の釘の写真がある。	編集の具体的方針(2)による。
	161		修正	「漢字の広場 4年生で習った漢字④」【資料47】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	162		修正	「雪女」(252~256ページを挿入。252ページの「学習を広げる」は, 163ページ末に掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	164			「詩の楽しみ方を見つけよう」(歴史的仮名遣いは, 注に掲載)	編集の具体的方針(5)による。
	165	下8-9	修正	(文を修正) 詩に合った絵を添えてもいいですね。	編集の具体的方針(2)による。
	173	上段	修正	「身近な例に置きかえながら読もう」(図は「お父さん」から時計回りに掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	178	下3	修正	「書き言葉と話し言葉」(語句の説明の追加) 「化学(せんい) — (しぜん) 科学」「人口(みつど) — 人工(えいせい)」	編集の具体的方針(2)(3)による。
	179		修正	「漢字の広場 4年生で習った漢字⑤」【資料48】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	180	下段	修正	「すいせんします」(図を修正し, 掲載) 【資料49】	編集の具体的方針(2)による。
185	下1	修正	「複合語」(上段イラストを削除し, 文章化し掲載) 1. 「ジャンピング台で」「大型つみ木に」「ぷーるへ」「平均台から」などの言葉に続けて, ……	編集の具体的方針(2)による。	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
5上	213		修正	「物語を作ろう」（写真を削除し、文章化し、課題を修正） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">（7つの場面）</p> <p>雪の上に点々と続く動物の足あと 葛のつりばし 幼い兄弟と新幹線 前足をなめるかまきり 桜が満開の学校 田舎道のバス停 草の上であお向けに眠る子猫</p> </div>	編集の具体的方針(2)による。
	214	上段		この7つの場面をもとに、想像を広げて、あなただけの物語を書きましょう。 1. 7つの中から好きな場面を選びましょう。物や周りの様子を表す言葉、それらから連想される言葉を、できるだけたくさん書き出してみましょう。 〈例〉（タイトルを修正し、ブレンストーミングを修正し掲載）【資料50】	
	216		修正	「漢字の広場 4年生で習った漢字⑥」【資料51】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	222	上2	追加	「通信文のいろいろ」（語句の追加） （縦書きの手紙の型）	編集の具体的方針(2)(3)による。
	223	上4	修正	「（横書きの手紙）」（語句を修正。直後に下段の（例）を掲載。次に(ア)～(オ)に「横書きの手紙の型」と題を付記して挿入） 次の例を見てみましょう。	
	224		修正	「（ファクシミリ・電子メール）」（ファクシミリ通信文例と電子メール例の語句に追加。 *の箇所は削除） 「電話」を「電話番号」 「ファクシミリ」を「ファクシミリ番号」 「電子メール」を「電子メールアドレス」	編集の具体的方針(2)(3)による。
				「演劇ができるまで」（写真を削除し、演劇作品名を掲載） 演劇作品名 「がんばれ！あふあんていー！」 「花さかじいさん」（影絵） 「春若丸」 「長い長い郵便屋さんの話」 「リア王」（人形劇） 「赤ガラス大明神」 （両ページの図は、資料のように修正した。）	編集の具体的方針(2)による。
	247			「たくさんのありがとう」（地図を削除し、ショーシ、キノドク、オーキニ、ダンダンの順に掲載）	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
5年	257		修正	「カンジ博士の漢字学習のすすめ」（吹き出し部分と、「こんなこともしてみよう」のみ修正して掲載） 横山「5年生のうちに、『中学生までの漢字は全部使えるよ。』と言えるようになりたい。」 西川「習ったはずなのに、『こんな読み方があったんだっけ。』と思う読み方がある。辞典などで、その読み方を使った言葉を調べて集めたら、身につけられるんじゃないかな。」	編集の具体的方針(2)(3)による。
6年	10-11		修正	「続けてみよう」（各課題の後の具体的な内容は、番号を付記して掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	26	下段	修正	「カレーライス」（表中の(ア)(イ)には、それぞれ場面(ア)、場面(イ)として掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	29		修正	「漢字の広場 5年生で習った漢字①」（6年 P29） [資料52]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	30-31		修正	「春は、あたたか」（写真は削除し、短歌を現代仮名遣いで表し、歴史的仮名遣いは欄外注として掲載）	編集の具体的方針(5)による。
	32-33		修正	「感情」（本文と下段の該当項目を見開きで掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	34-35		修正	「生き物はつながりの中に」（下段部分は、本文の該当する部分とともに抜き出し、ページと行を付記して掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	40	下13	修正	「筆者の意図をとらえ、自分の考えをもとう」（語句の修正） (1)呼びかけている表現をさがして書き出そう。	編集の具体的方針(2)による。
	43	上12	修正	「学級討論会をしよう」（46ページの「討論会の準備メモ」を挿入）	編集の具体的方針(2)による。
	44-45		修正	「〈討論会の進め方〉」（本文と、下段及び46ページの〈聞き取りメモ〉を、見開きで掲載。） 最後の主張の前に、それぞれ（肯定グループ）、（否定グループ）を付記して掲載。	編集の具体的方針(2)による。
	53	上11-13	修正	「ようこそ、わたしたちの町へ」（文の修正） (1)言ってみたり、写真を写してもらったりする。 (2)くわしい人に会って話を聞く。 (3)別の人書いた文章を読んだり、写した写真の説明を聞いたりする。	編集の具体的方針(2)による。
54		修正	「構成」（下段3行及び簡単なページ案を、〈全体の構成例〉の前に挿入） [資料53]	編集の具体的方針(2)による。	
55		修正	「記述・推敲」（〈記述例〉に該当ページと行を挿入。各目的地の1行目に「井戸」から徒歩10分、「東照宮から徒歩8分と挿入）（96ページ16行目の例）		

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
6年	56		修正	「読みあって、互いに助言しましょう。」（観点には第1カッコを付け、吹き出しに前置して掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	57		修正	「漢字の広場 5年生で習った漢字②」【資料54】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	58-59	欄外	削除	「伝えられてきたもの」（写真及び欄外の年表は削除）	編集の具体的方針(2)により。
	60	欄外注	修正	「大坂」（使われている漢字の部首が異なることを、説明で追加） おおさか（坂はつちへん）—現在の大阪（阪はこぎとへん）のこと。	編集の具体的方針(2)(3)による。
	62-69		修正	「柿山伏」（現代語訳等は欄外注として掲載）	編集の具体的方針(5)による。
	72-73		修正	「漢字の形と音・意味」（以下の漢字を点線文字で示し、課題文を修正して掲載）【資料55】 求 球 救 化 花 貨 青 静 晴 清 測 則 側 言 記 議 訳 語 調 詩 読 誌 月 脳 臓 肺 胃 腸 ㇿ ま ㇿ り	編集の具体的方針(2)(3)による。
	74-75		修正	「河鹿の屏風」（249～252ページの文章を挿入）	編集の具体的方針(2)
	76-78		修正	「夏は、暑し」「たのしみは」（現代仮名遣い表記、その後第1カッコで囲み歴史的仮名遣い表記を併記）	編集の具体的方針(5)による。
	76		修正	「（季節の豆知識）」（文の修正） 「きへん」に「夏」という漢字を書くと、「榎」という漢字になります。	編集の具体的方針(2)(3)による
	80	上6-7	修正	「3. 短歌を短冊に書こう」（文の修正） 3. 短歌を書いて、短冊にはろう。 作った短歌を書いて短冊にはり、読み合いましょう。	編集の具体的方針(2)による。
83		修正	「漢字の広場 5年生で習った漢字③」【資料56】	編集の具体的方針(2)(3)による。	
	92		削除追加	「『平和』について考える」（新聞・パーソナルコンピュータ・本の挿絵を削除し、文章化し、12行目の前に挿入） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">新聞や本、インターネット、体験、見聞（インタビュー・テレビなど） →資料1, 資料2, 資料3 →確定した要旨</div>	編集の具体的方針(2)による。
	98-99		修正	「熟語の成り立ち」（傍線部は第1カギで囲み、「上の」と「下の」は、「前の」と「後の」に修正）	編集の具体的方針(2)による。

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
6年	100	上5-6	修正	「生活の中の敬語」(文の修正) 1. 次の文で、敬語が使われているところはどこでしょう。	編集の具体的方針(2)による。
	114	13	追加	「イーハトーブの夢」(曲尺の意味を脚注で追加) 曲尺 — 「かね」は「曲」(曲がる)という漢字で表す。	編集の具体的方針(2)による。
	115、 123		削除 修正	「『イーハトーブの夢』(写真は削除し、キャプションは本文の後に(写真説明)としてまとめて掲載)	編集の具体的方針(2)による。
	124	下8-9	修正	「作品の世界を深く味わおう」(文の修正) …そして、自分もその場にいるような気持ちで読み味わってみよう。	編集の具体的方針(2)による。
	126	下段	修正	「作家の人生と重ねながら、作品を読む。」(詩は現代仮名遣いで示した後、(賢治が書いたまま)として歴史的仮名遣いを掲載)	編集の具体的方針(5)による。
	129		修正	「漢字の広場 5年生で習った漢字④」【資料57】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	130		修正	「秋は、人恋し」(現代仮名遣いで示した後、第1カッコで囲んで歴史的仮名遣いを掲載)	編集の具体的方針(5)による。
	133	14	削除 修正	「『鳥獣戯画』を読む」(写真を削除し、文章を修正)ためしに、ぱっとページをめくってみる。 どうだい。蛙が兎を投げ飛ばしたように動いて見える。	編集の具体的方針(2)による。 ※いずれも、絵画や絵巻などを「見て」文章と照らし合わせながら考える教材である。視覚経験の無い(または少ない)児童にとって、文章のみで本教材の目標を達成することは難しい部分が多い。指導に当たっては児童の実態を踏まえ適切な工夫が欲しい。
	138- 139		削除 修正	「信貴山縁起絵巻」「伴大納言絵巻」(写真は削除し、キャプションのみを掲載)	
	140	上 8-10	修正	「筆者のものの見方をとらえ、視野を広げよう」(文の修正) 1. 筆者は、「絵」「絵巻物」の二つの事からについて書いている。「絵」について書いてある事を読もう。	
	141	上 2-4	修正	「筆者のものの見方をとらえ、視野を広げよう」(文の修正) (3)つながっている絵を、分けて出したのはなぜだろう。また、再度出したのはなぜだろう。	
	142- 143		削除 修正	「この絵、わたしはこう見る」(絵を削除して、文章を修正)【資料58】	
144	1	修正	(文の修正) 2. 絵から読み取ったこと、感じたことを文章に表します。……表現を工夫して書きます。		
145	14 星印	修正 削除	3. 書いた文章を友達と読み合います。 下段の(学習を広げる)は削除		






























































学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
6年	146-148		修正	「漢字を正しく使えるように」（漢字は区別のために音または訓を追加）【資料59】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	150-151		修正	「天地の文」（現代仮名遣いで表し、歴史的仮名遣いは脚注に掲載）	編集の具体的方針(5)による。
	152-153		削除 修正	「わたしと本」（挿絵を削除して、番号を付記して右上から掲載。「石田高広」の後に6マスの空欄符号を挿入） （学習を広げる）（文の修正） 空らんの中に、本を読んでいるあなたを書き足してみましよう。書き足したものを、発表し合いましよう。	編集の具体的方針(2)による。
	155	上2	削除	「7. どんな本が好きかな」（「写真や絵がきれいな本」を削除）	
	171		修正	「漢字の広場 5年生で習った漢字⑤」【資料60】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	177-179	13 8-13	修正	「言葉は動く」（歴史的仮名遣いは脚注に掲載）	編集の具体的方針(5)による。
	186-187			「自分を見つめ直して」（下段の説明は、本文の後に、該当する文・ページ・行と併記して掲載）	編集の具体的方針(2)による。
	188-189		修正	「カンジー博士の漢字クイズ大会」【資料61】	編集の具体的方針(3)による。
	190	脚注	追加	「海の命」（図版を省略し、イサキとブリにそれぞれ体長を追加） イサキ — …。体長40センチメートルくらい。 ブリ — …。体長1メートルくらい。	編集の具体的方針(3)による。※本文の理解に、魚の大きさが参考となることへの配慮。
	205		修正	「漢字の広場 5年生で習った漢字⑥」（13. は削除）【資料62】	編集の具体的方針(2)(3)による。
	229	15-17	修正	「宇宙飛行士 — ぼくがいだいた夢」（字数制限を点字のマス数指示に修正） 1. この文章を読んだ感想を、点字32マス22行（400字）程度にまとめよう。 2. 「わたし（ぼく）の将来の夢」という題名で、今、あなたが心に思っていることを点字32マス22行（400字）程度で書こう。	編集の具体的方針(6)による。
	235	上16	修正	「変身したミンミンゼミ」（字数制限を点字のマス数指示に修正） 2. そして、似たような自分の体験を点字32マス22行（400字）程度の文章にまとめよう。	編集の具体的方針(6)による。
238-239	1	修正	「本がやって来る」（タイトルの後に、（普通の文字の本の場合）を追加）	編集の具体的方針(2)による。	

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
6年	238	下段	修正	「本がやってくる」（挿絵や図を削除し、文を修正） 2 どんな体裁の本にするかを決める（デザイナー） 書体のいろいろ ☺☺☺ ☐ 明朝体・ゴシック体・教科書体など、いろいろな書体があります。 形や大きさのいろいろ ☺☺☺ ☐ 文庫・新書・単行本・教科書・絵本など、いろいろな形や大きさがあります。	編集の具体的方針(2)による。
	243	下11	修正	「俳句を作ろう」（語句の修正） 短冊にはってかざったりして楽しみましょう。	編集の具体的方針(2)による。
	248		削除	「文字」（平仮名と片仮名の表を削除）	編集の具体的方針(2)(3)による。
	253		修正	「漢字博士の漢字学習のすすめ」（草野の吹き出しと「こんなこともしてみよう」のみ掲載）	編集の具体的方針(2)(3)による。
	264	下段	修正	「特別な読み方をする言葉」 [資料63]	編集の具体的方針(2)(3)による。
	264	下段	修正	「特別な読み方の片仮名」（「特別な読み方の片仮名」を「特別な読み方の点字」とし、点字の特殊音を掲載）	編集の具体的方針(2)(3)による。

1 参考資料

[資料 1] 1 - 1 点字導入教材 片面書き

ページ	内 容	指導上の留意点
1	両手で正しくたどりましょう (1) ⠠の線4行 ⠡の線4行	入門期には、平らで適度な堅さの面に置かれたシートで学ぶことが望ましい。必要に応じて同様の教材のシートを用意し、指導する。 ・両手指で行の終わりまで正しくたどる。 ・両手指で行の終わりから戻り、行替える。 ・両手指で行をたどり、行末近くになったら右手だけで残りをたどる。左手は先に改行し、右手が追従する。 ・両手の指先は立てずに行の上に置き、両手の人差し指を軽く付けてたどる。
2	両手で正しくたどりましょう (2) ⠠の線4行 ⠡の線4行	
3	両手で左から右までたどりましょう (1) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠の形で、2行2組と3行1組	指先を立てずに両手指で正しくたどる。 ・基点に両手指を正しく置き、終点までたどり、両手指で戻る。 ・基点に両手を置き、右手だけで終点間を往復する。さらに終点に両手を置き、基点間を左手だけで往復する。
4	両手で左から右までたどりましょう (2) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠の形で、5行	
5	長さを比べましょう ⠠の線2行ずつ2組 (16マスと20マス, 24マスと20マス) ⠡の線3行 (18マス, 20マス, 22マス) ⠢の線2行ずつ2組 (14マスと18マス, 16マスと12マス)	・指先を立てずに両手指で正しくたどる。 ・左手を基点にして、右手の動きで基点からの長さを捉える。 ・行末のへこんだ部分を捉える。
6	始まりがへこんだ所を探しましょう (1) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠の形で、3行2組 2行目と4行目は、2マス下げた書き出し	・教科書に移行したときに不可欠な、書き出し(段落)意識のレディネス教材 ・改行動作の習得
7	始まりがへこんだ所を探しましょう (2) ⠠の線10行 2, 5, 7, 9行目は、2マス下げた書き出し	
8	始まりがへこんだ所を数えましょう ⠠の線7行ずつ2組 3, 5, 7行目と2, 4, 5, 6行目は、2マス下げた書き出し	
9	一マスあけの切れ目を探しましょう ⠠の線2行ずつ4組 マスあけは3回と4回, 2回と5回, 6回と5回, 6回と6回	※クラスメイトと数える速さを競ったり、時間を計測したりして、興味喚起をも意図した教材 一マスあけイメージの形成と行たどり教材 (一マスあけは6箇所までとする。行末は数えるべきかどうか判断が分かれるので、この教材には入れない。)
10	一マスあけの切れ目を数えましょう ⠠の線4行2組 マスあけは3, 4, 5, 5回と3, 6, 4, 5回	
11	二マスあけの切れ目を探しましょう ⠠の線2行4組 マスあけは2回と3回, 4回と3回, 5回と6回, 3回と4回	

ページ	内 容	指導上の留意点
12	一マスあけの数を数えましょう (1)  2, 1, 2。 1, 1, 2, 2, 1。 1, 2, 1, 2。 1, 2, 1。 ニマスあけの数を数えましょう (2) 1, 2, 2, 1, 1。 2, 1, 2。 1, 2, 1, 1。 2, 2, 1, 2。	一マスあけまたは二マスあけの違いを捉える教材。 ※クラスメイトと数える速さを競ったり、時間を計測したりして、興味喚起をも意図した教材
13	 2, 3, 6, 4, 10, 5, 7個の7行 3, 2, 4, 4, 8, 7, 5個の7行(4, 6行目は二マス下げ)	左から右へ行をたどりながら一マスの意識化を図る教材  と  の数を両手指でたどる。
14	 5, 3, 8, 6, 10, 4, 7個の7行 4, 6, 8, 4, 5, 8, 7個の7行(4, 6行目は二マス下げ)	
15	変わり目はどこでしょう  の、ニマス以上の連続線の変り目を読み取る 変わり目毎に一マスあけの7行	行途中の変化の弁別 ・両手指で正しく行をたどる。 ・点字の枠組みを横の段(①④, ②⑤, ③⑥の点)のイメージで捉える。
16	変わり目はどこでしょう  の、ニマス以上の連続線の変り目を読み取る 変わり目が連続の7行	
17	上と下のどちらでしょう  で始点と終点  と  の線 2行と3行と3行	行途中の変化の弁別 ※比較しやすい上下から行い、それを合わせた  をもとに、最初と最後は  で明確化
18	上中下のどれでしょう (1)  で始点と終点  と  の線 2行と3行と2行	行途中の変化の弁別 ※クラスメイトと「上, 中, 下」と唱えながら速さを競ったり、時間を計測したりして、興味喚起をも意図した教材
19	上下中のどれでしょう (2)  で  と  二マスを囲む 3行  で  と  一マスを囲む 2行  に続く  と  一マス 2行	一マスの横段の意識化教材 難易度を変えた配列 ※  の後マスあけをすると、基準が離れ、難易度が増すために続ける。
20	右と左のどちらでしょう (1)  で囲んで  と  4行  の後に続けて  と  3行	一マスの縦行(①③と④⑥の点)の意識化教材 ・難易度への配慮から、最初は  で囲み、次に  の後に続けて示す。
21	右と左のどちらでしょう (2)  で囲んで  と  4行  の後に続けて  と  3行	一マスの縦行(①②③と④⑤⑥の点)の意識化教材 ※  と  は  の後に続けると、干渉が起きやすいので、  と  を学んでから行う。
22	長い棒と左の棒のどちらでしょう  と  3行 同じ形を探しましょう  と  、  と  2行ずつ	縦行の  の点間の意識化教材 ・  と  、  と  、  と  の区別を学ぶ ・  と  、  と  はクラスメイトと速さを競ったり、時間を計測したりして、興味喚起をも意図した教材

ページ	内 容	指導上の留意点
23	違う物をさがしましょう (1) ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ 2行ずつ	一マスの縦行の意識化教材 ・4択 ・⠠で⠠で干渉を避ける。 ・縦行を基準に、次の左と右をあわせる教材の導入として扱う。
24	違うものを探しましょう (2) ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠と⠠ 2行ずつ	
25	違うものを探しましょう (3) ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠と⠠ 2行ずつ	
26	違うものを探しましょう (4) ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠と⠠ 2行ずつ	
27	違うものを探しましょう (5) ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ 2行ずつ	
28	違うものを探しましょう (6) ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠と⠠ 2行ずつ	
29	違うものを探しましょう (7) ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ 2行ずつ	
30	違うものを探しましょう (8) ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ ⠠で⠠で⠠と⠠ 2行ずつ	
31-34	二つのマスをあわせましょう (1)～(4)	縦行を基準に、次の左と右をあわせる教材
35	読んでみましょう ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ ⠠⠠⠠⠠⠠	点字の形と音を結びつける最初の教材 ※一マスの感覚を習得後の学習。音のまとまりで読む必要から、音毎にマスはあけない。

ページ	内 容	指導上の留意点
23	違う物をさがしましょう (1)	一マスの縦行の意識化教材
36 37 38 39 40	ア行とカ行の言葉 サ行とタ行の言葉 ナ行とハ行の言葉 マ行とヤ行の言葉 ラ行とワ行の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・各行の語例を使う教材 ・各音は㊦で囲んで掲載 ・清音の学習では該当音から始まる二マスを中心とした身近な名詞を選んで掲載。 (岡田明著『聴覚障害児と視覚障害児の教育基本語彙より選定) ・50音順の言葉集めで、50音の仕組みと意識化を図る。 ・形と音は丁寧に結びつける。
41	声に出して読みましょう (50音表)	50音表の学習
42	41頁の表 横に読んでみましょ。 あ い う え お か き く け こ 縦に読んでみよう。 あ か さ た な は ま や ら わ 長く伸ばしてみよう。 あー かー さー たー なー はー まー やー らー わー いー きー しー ちー にー ひー みー いー りー ー	
43	詰まる音と伸ばす音と撥ねる音 ㊦で囲んで、語例3語ずつ	<ul style="list-style-type: none"> ・これらは50音ではないので、区別して指導する。 ・このページで50音及び促音・撥音・長音の学習が終了
44	次の語を読んでみましょう 43語	<p>児童の実態に合わせて、文字を読む楽しみを味わえる教材を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって身近な身体、教科、食べ物などを掲載
45 46 47	濁る音の言葉 表 ガ行の言葉 語例2語ずつ ザ行とダ行の言葉 語例2語ずつ バ行とパ行の言葉 語例2語ずつ	<ul style="list-style-type: none"> ・各行の語例を使う教材 ・各音は㊦で囲んで掲載 ・該当音から始まる二マスを中心とした身近な名詞を選んで掲載。 <p>※「ぢ、づ」は第2音目の語</p>
48	拗音 表	<ul style="list-style-type: none"> ・拗音、拗濁音、拗半濁音も語例を加えて指導する。
49-50	拗音を使う言葉(1)～(2)	
51	拗濁音と拗半濁音の表	
52	拗濁音と拗半濁音を使う言葉	

ページ	内 容	指導上の留意点
53	特殊音の読み方	・具体例と共に指導する。
54	数字の読み方	・適切な助数詞を付けて示す。
55	<p>文を読んでみましょう (1)</p> <p>文の区切りは点 (三三)</p> <p>文の終わりは丸 (三三)</p> <p>みんなとあるく。 いっしょにあるく。 おひさまほかほか。 げんきにあるく。</p> <hr/> <p>ばななが、すき。 かわわ、すべすべ。 まがったかたち。 かわをむくと、いい におい。 たべると、あまい。 おいしいばなな。</p>	<p>・2語文で、盲児童の生活経験に沿った内容の文例。</p> <p>・句点、読点の導入</p>
56	<p>文を読んでみましょう (2)</p> <p>いぬが、いる。 なまえわ、なにかな。 さわると、けわふさふさ。 いぬが、てをなめる。 ぺろぺろぺろ。 あったかいね。</p> <hr/> <p>かぜがふく。 まどを、がたがた。 どあを、ぎーぎー。 ほんをめくって、にげていった。</p>	
57	<p>文を読んでみましょう (3)</p> <p>話し言葉には、カギ「 」をつけます。</p> <p>あさのあいさつ、「おはよー」。 ごはんのまえにわ、「いただきます」。 ごはんのあとにわ、「ごちそーさま」。 でかけるときにわ、「いってきます」。 かえったときにわ、「ただいま」。 よるのあいさつ、「おやすみなさい」。 ああ、ねむい。</p>	<p>3語文で、盲児童の生活経験に沿った内容の文例</p> <p>・第1カギの導入</p>
58	<p>文を読んでみましょう (4)</p> <p>でんしゃにのる。 ばすにのる。 ほどーをあるく。 ランドセルがおもい。 もーすぐ、がっこー。 せんせいが、まっているよ。 はしっていこー。</p>	

[資料2] 点字の表記習熟のためのドリル

1-2 巻末

点字練習 1-1

読んでみよー、書いてみよー

おかあさん おばあさん
おにいさん おじいさん
おねえさん ええ ねえ
おとーさん いもーと おとーと

点字練習 1-2

読んでみよー、書いてみよー

せんせい とけい いいえ
おおきい おおかみ とおい こおり
ふーせん ゆーひ すーじ
はしろー はなそー たべよー

点字練習 1-3

読んでみよー、書いてみよー

きゃんぷ きゅーしよく きょーしつ でんしゃ
しゅくだい しよくじ ちよきんばこ
ぎゅーにゅー にんぎよ びょーいん じゃんけん
ぼっぷこーん ぷりんと こんびゅーた

点字練習 1-4

読んでみよー、書いてみよー

せっけん とらっく きって らっば もっぷ
あまがっば びすけつと みずでっぼー
がっかり うっかり こっそり びっくり
よっと まっと らっこ ろけつと

1-3 巻末

点字練習 1-5

読んでみよー、書いてみよー

こづち おこづかい みかづき
ちちむ つづく もとづく かたづける
ごはんちゃわん はなち そこちから
せかいじゅー ほおずき みみずく いなずま
うなずく つまずく

点字練習 1-6

読んでみよー、書いてみよー

1ねん 20にん 7さい
10びき 30ぷん 1けんや 14か
1__えん 5__おくえん 3__りつとる
5__え すすむ 20__らしい
2、3にち 4、5こ 5、6百__えん

点字練習 1-7

読んでみよー、書いてみよー

じゅーじろ しこく きゅーしゅー よっかいち
いちろー ごろー しろー
ちよーりつ 5ちゅー 2じょーどおり
4じ 14か 4にん

点字練習 1-8

読んでみよー、書いてみよー

ひとつ ついたち
ふたつ ふつか
みつつ みっか
よつつ よっか
いつつ いつか
むつつ むいか
ななつ なのか
やつつ よーか
ここのつ ここのか
とお とおか

2-1 巻末

点字練習 2-1

読んでみよー、書いてみよー

みんなが して いる。
みんなが して いる。
くまさんが いた。
くまさんが いった。

点字練習 2-2

読んでみよー、書いてみよー

わたしわ 1ねんせいです。
はなわ きれいです。
えきえ おとーさんを むかえに いきます。
へやの なかえ はいります。

点字練習 2-3

読んでみよー、書いてみよー

あきこ さん やまだ さま たなか どの
さとー くん こいけ し
おねえちゃん さかなやさん くまさん
たぬきくん かえるちゃん おーじさま

点字練習 2-4

読んでみよー、書いてみよー

まん 8さい まる 1にち ぜん 3かん
しんはつめい だい3かん ぜんにほん
ひとり ひとり ぼつり ぼつり
のろのろ ばたばた びゅーびゅー

2-2 巻末

点字練習 2-5

読んでみよー、書いてみよー

べんきよー する
うんどー する
すきつぶ する
のろのろ する
しんずる あいする

点字練習 2-6

読んでみよー、書いてみよー

ほんを よむ こと
しよくじを する とき

ぼくの きらいな もの
ふくを きた まま およぐ

点字練習 2-7

よんでみよー、かいてみよー
じしんが おきた。
ゆのみちゃわんが われた。
はなしが つづく。
みちで つまづいた。
いなずまが ひかった。

点字練習 2-8

読よんでみよー、書かいてみよー
たのしい ことを いう。
つまらない ことを いうなよ。
そー いう ことか。
そー いう ことわ せんせいに いえない。
どーして しかられたか いう。

3-1 巻末

点字練習 3-1

読んでみよー、書いてみよー
ある あきの ひの ことです。
やまから つめたい かぜが ふいて きました。
こー いう ばんわ そとに でたくわ ありません。
でも どー しても でかけなくてわ なりません。
ああ いやだと おもいました。

点字練習 3-2

読んでみよう、書いてみよう
うちゅーわ どー なって いるのか しらべて みたい。
おふろの ゆかげんを みて みる。
ここに たいせつな ことが かいて ある。
そとわ ゆきが ふって いる。
つくえの うえを きれいに かたづけて いる。

点字練習 3-3

読んでみよう、書いてみよう
この ほんわ、 だんだん おもしろく なく なった。
ははの ほおが、 あかくなつた。
いもーとの びよーきが、 すこし よく なった。
たいふーが とおりすぎると、 かぜが なくなつた。
けさ ろーじんが びよーいんで なくなつた。

点字練習 3-4

読んでみよー、書いてみよー
その ことは、 ぼくには かんけい ない。
それは、 ぜったいに まちがい ない。
きみが おこるのも、 むり ない。
きよーは、 がっこーえ おくれないで いこー。
ぼくわ、 もー まよわない。

3-2 巻末

点字練習 3-5

読んでみよー、書いてみよー

ごめん ください。
ありがとー ございます。
やって いただく。
おはなし なさる。
ごめん なさいませ。

点字練習 3-6

読んでみよー、書いてみよー
かれ じしんが そー いった。
からだ ぜんたいを つかう。
「よー といあわせ」とわ、 といあわせが ひつようーですと いう いみです。
えいよー まんてんの しょくじを とる。
こぶとり じいさんわ、 たのしい おはなしです。
ちよこれーと けーきが たべたく なった。

点字練習 3-7

読んでみよー、書いてみよー
けん たいいくかんで しあいを おこなう。
まくら かばーを せんたく する。
こーつー じこが おきて いる。
ひなまつりを おねえさんと いわう。
みずさいばいを はじめて みよー。

点字練習 3-8

読んでみよー、書いてみよー
かれわ、 くるしそーな こえを だして いる。
ふゆのよーに さむい ひが つづいて います。
おーむが 「ほっ、 ほーっ。」と ないて いた。
なんでも じぶんで やって みよー。
つよそーな ちーむめいを きめて ほしい。

4-1 巻末

点字練習 4-1

よんでみよー、書いてみよー
にゅーがく しけん
てれび どらま
おんがく かんしょー
やすみ じかん
ぎょーかん たいそー

点字練習 4-2

読んでみよー、書いてみよー
きよろきよろ するな。
なくなく あきらめる。
ところどころ まちがって いるよ。
やまみちを ふーふー いいながら のぼる。
さむくて がたがた ふるえる。

点字練習 4-3

読んでみよー、書いてみよー
むかし むかしの おはなしです。
とおい とおい くにに、 おとこのこが すんで いました。
なきながら とぎれ とぎれに、 はなしを しました。
かいじゅーが のっし のっし あるいて いた ころです。
ふたりわ わかれ わかれに なりました。

点字練習 4-4

読んでみよー、書いてみよー

かみのけを きる。
とこのまに かざる。
そのひぐらしの せいかつ。
てのひらに のせる。
このはが ちる。

4-2 巻末

点字練習 4-5

読んでみよー、書いてみよー

おばけ やしきが こわくて さげびつづけて いる。
ろーかわ すべりにくく する ひつよーが あります。
やきゅー たいかいが めのまえに ちかづいた。
きゅーに なきはじめたので、 ぼくわ びっくり した。
きの一の できごとを、 おもしろおかしく はなして いる。

点字練習 4-6

読んでみよー、書いてみよー

かぶしきがいしゃ かがみびらき すいしゃごや
さっきよくしゃめい しょーちゅーがっこー
とどーふけん しの一こーしょー
しちよーそんちよー かいすいよくじょー

点字練習 4-7

間違いをすべてさがしてみよー

こずつみが きよー とーちやくした。
どうなつを たなかせんせいが かって くださった。
まいにち ごちそーを たべていた。
おおどーりの こうさてんを みぎへ まがると、 みかずきが みえて いた。
おさかなや さんで かいものを し、 こーりを 入れて もらった。

点字練習 4-8

間違いをすべてさがしてみよー

くま さんが、 はしってきた。
ねずみ くんわ、 「きゃー」と、 おおごえを だしています。
そのあとから、 さんびきの すずめばちが あとを おつてきました。
どうぶつひろばわ、 おおさわぎになり ました。

5-1 巻末

点字練習 5-1

読んでみよー、書いてみよー

Aこーす CD ふれーやー TV ばんぐみ
NHK SOS
B__がた X__せん A__ぐみ
A4はん 10cc 3LDK

点字練習 5-2

読んでみよー、書いてみよー

なつめ そーせき ちよ
ぱぶろ ぴかそ が
よさの あきこ やく
あさの あつこ さく

点字練習 5-3

間違いをさがしてみよう
すきな Tシャツが しわくちゃに なった。
Y じろわ、 みとーしが わるい。
ねん がっ びを、ここに きにゅーしてください。
ここで どうか でんわさせて ください。

点字練習 5-4

間違いをさがしてみよう
かわばた やすなりさく
1 ろーが ひつとを うった。
A__こーすは、ひじょーに こーきゅーな しょくじです。
やすみじかんに そとで ばすけつとぼーるを やった。
しばらくして ははが もどってきた。

5-2 巻末

次の符号の使い方を覚えよう

- ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 第1カギ (会話や強調する時に使う)
- ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 第2カギ
- ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 二重カギ (本の名前や、第1カギの中の語を囲む時に使う)
- ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 第1指示符 (傍点や強調する時に使う)
- ⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 第3指示符 (試験問題で、傍線箇所を示す時に使う)

[資料3] 「かん字のひろば①」 (2年上 P29)

つぎのことばをつかって、文を作りましょう。文の終わりには「まる」をつけましょう。1年生で習ったかん字には「」がつけてあります。

「いぬ」 「な」 ふだ
「かわ」 「いし」 「はな」 「くさ」
「た」 んぼ 「はやし」
「くるま」 「まち」 「がっこう」 「むら」
「もり」 「やま」 「ゆうひ」
(れい)
「いぬ」のジョンは、さんぼが大すきです。きょうは、「かわ」のちかくまであるきました。

[資料4] 「かたかなのひろば①」 (2年上 P39)

動物がスポーツをしています。カタカナには「…」がつけてあります。
いぬが「ゴール」をめざして走っています。
うさぎが「スキップ」し、さるは「ジャンプ」しています。
ぶたが「マット」で前まわりをしています。
くまとねずみが「バトン」をもって「リレー」をしています。
ねこが「ダンス」しながらおうえんしています。
くまは「ドッジボール」をしてあそんでいます。
さるが「サッカー」「コート」にいます。
くまが「プール」でおよいでいます。
ぶたは「シャワー」をあびて、さるは「タオル」で体をふいています。

[資料5] 「かん字のひろば②」 (2年上 P59)

つぎのことばをつかって、うんどうかいのようすを書きましょう。「わ」や「を」を正しくつかいましょう。1年生で習ったかん字には「」がつけてあります。

「あおぞら」 「てんき」
おうえん 「み」 る
「せんせい」 「た」 つ
「たけ」 うま あみ 「はい」 る 「で」 る ふみだい 「のぼ」 る
「お」 りる たいやひき 「ちから」 「たま」 ころがし

(れい)

「先生」は、だいの上に「立」って、みんなをおうえんしています。

[資料6] 「かん字のひろば③」 (2年上 P93)

つぎのことばをつかって、一週間のできごとを書きましょう。1年生で習ったかん字には「 」がつけてあります。

「げつ」——「せい」もん 「1ねんせい」

「か」——「もじ」をつくる

「すい」——「やす」み じかん

「もく」——「いと」でんわ

「きん」——「あめ」

「ど」——「はや」おき

「にち」——「むし」とり

(れい)

「げつ」ようびに「1ねんせい」を、学校の「せい」もんまでつれて行ってあげました。

[資料7] 「かたかなのひろば②」 (2年下 P32)

動物ががっきをえんそうしています。カタカナには「…」がつけてあります。

どうぶつの「オーケストラ」です。

どうぶつたちが「コンサート」をしています。

「コアラ」が「マラカス」をふっています。

うさぎが「ピアノ」をひいています。

さるは「ギター」をひき、ねこは「バイオリン」をひいています。

ぶたはけんばん「ハーモニカ」をふき、いぬは「トランペット」をふいています。

いぬは「タンブリン」をたたき、「パンダ」は「カスタネット」をたたいています。

「トライアングル」をたたいているのはしろくまです。

くまは「ドラム」をたたいています。

いぬは「シンバル」をならします。

ねずみはじょうずに「オルガン」をひきます。

[資料8] 「かん字のひろば④」 (2年下 P63)

つぎの数をあらわすことばをつかって、さんすうのもんだいを作ったり、お話を作ったりしましょう。1年生で習ったかん字には「…」がつけてあります。

おみせ だいこん 「8ぼん」 「1ぼん」 「ひやくえん」

「かい」がら 「5」まい 「1」まい 「90」えん

ランプ 「4」こ 「1」こ 「せんえん」

ねこ 「3」びき ことり 「4」わ

ぎょーれつ 「おー」さま けらい 「6にん」

うま 「2」とー

おしろ やしのき 「1ぼん」 はた 「7ぼん」

(れい)

ねこが「3」びきいました。「いっ」びき家に帰りました。のこりは何びきですか。

[資料9] 「かん字のひろば⑤」 (2年下 P89)

つぎのことばをつかって、主語と述語のつながりに気をつけて、公園のようすを書きましょう。主語の後には、点を付けましょう。1年生で習ったかん字には「…」がつけてあります。

トランペット 「おと」 「みみ」 「め」 はく 「しゅ」

ぼうしとマフラー 「あか」 「しろ」

ハンバーガー 「くち」

トイレ 「みぎ」 えき 「ひだり」

あひる 「だい」 「ちゅー」 「しょー」

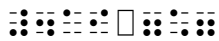
「おとこ」の「こ」 「おんな」の「こ」 かけ「あし」

(れい)

「男」の人が、トランペットの「音」に「耳」をすましています。」

[資料10] 「ノートとなかよくなろう」 (3年上 P22)

(野口さんのノート) (1)



音読しよう

「きつつきの商売」 林原 玉枝 作

1. 「きつつきの商売」の1を読む。

.....

1. このノートには、何と何とが書いてありますか。
2. このノートで、よいと思うところがありますか。
3. あなたなら、じゅぎょうのはじめに、ノートにどんなことを書きますか。

(野口さんのノート) (2)

.....

(今日のまとめ) — ぼくとおなじところをおもしろいと思った人がたくさんいて、うれしかった。

じゅぎょうのおわりに、ふりかえってまとめを書く。

(ア) 新しく知ったこと
(以下, (キ) まで列挙)

(野口さんのノート) (3)

2. はっぴょうする。

.....

(自分が思ったり考えたりしたこと)

「コーン」

石山さん 高くて長い。(自分と同じ意見)

自分が思ったり考えたりしたことを自由に書き込むところを作る。

(野口さんのノート) (4)

.....

(わからない言葉コーナー)

(1) えりすぐり

(2) こしらえる

わからない言葉があったら、まとめて書き出しておく。
わからない言葉に出会ったときは、「国語辞典」が役に立ちます。

[資料11] 「国語辞典の使い方」 (3年上 P24-25)

(見出し語) ひろい (漢字での書き表し方) ひろ__い

1. はばや広さが大きい。(例) (1)道が広い (2)広い海。(対義語) 狭い
2. およぶ範囲が大きい。(例) 名前が広く知れわたる。(対義語) 狭い
3. こせこせしないで、ゆったりしている。(例) ところが広い人。(対義語) 狭い

[資料12] 「きちんとつたえるために」 (3年上 P34-35)

次の1～4の場面を読んで、あとのことを考えてみましょう。

(例1)

1

青いワンピースを着た女の子が、白い犬を散歩させています。それをちあきとかおりが見ています。
ちあき「あっ、かわいい。」

2

(女の子と犬が見えなくなってから)

ちあき「かわいかったね。」

かおり「うん。わたしもほしくなっちゃった。」

3

ちあき「でも、かおりちゃんの家には、もう犬はいるでしょ。」

かおり「え？なんのこと？」

4

ちあき「さっきの犬のことじゃないの。」

かおり「わたしは、女の子がきていた洋服のことを言ってたんだよ。」

1. どうして、話が食い違ってしまったのでしょうか。
2. かおりさんとちあきさんは、それぞれどのように言えばよかったのでしょうか。

(例2)

1

ひろしさんが、自分の部屋で宿題をしていると、台所の方から、お母さんの声がしました。
「ひろし、ちょっとおいで。」

2

ひろしさんは、もう少しで宿題が終わりそうだと思いながら、
「はあい、すぐいくよ。」と答えました。

3

十分後、「おかあさん、何の用事かなあ」と思いながら階段を下りました。

4

台所に行くと、テーブルの上にお皿がありました。それを見たひろしさんはあせりました。
「あっ、アイスクリームがとけてる。」

3. ひろしさんとお母さんは、それぞれどのように言えばよかったのでしょうか。
これまでに、言いたいことがうまくつたわらなかったことはありませんか。どんなことがあったか、どう言えばよかったかを、友だちと話しましょう。
相手にきちんと伝えるために、落としてはいけないことは何かを考えましょう。

[資料13] 「漢字の広場 2年生で習った漢字①」 (3年上 P37)

動物園の様子を書いたお話に出てきた言葉です。どんな動物がいますか。どんなものがありますか。「それで」「けれども」などをつかって書いてみましょう。2年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

「長」い 「首」 「麦」わらぼうし

「高」い 「太」い 「細」い 「強」い 「弱」い 「多」い 「少」ない 「半分」

「鳥」 「羽」 「新」しい 「古」い

「牛」 「馬」 「鳴」き 「声」 「頭」 「顔」 「内」 「外」

「売」る 「買」う

(れい)

子「馬」が近づいてきました。それで、女の子は、さくの「外」から子「馬」の「頭」をなでました。

[資料14]

文章

(何が)

- (1) アリが行列を作る不思議。
- (2) 不思議に思ったことを明らかにしようとする、科学者の行動や考え方。

(どのように)

- (1) 題名
- (2) 挿し絵
- (3) 段落の組み立て方
- (4) 言葉の使い方 など。

[資料15] 「漢字の広場 2年生で習った漢字②」 (3年上 P51)

つぎの言葉を使って、ねこをさがすぼうけんに出た、男の子のお話を書きましょう。時間の流れを表す言葉も使ってみましょう。2年生で習った漢字には、「 」がつけてあります。

「歩く」 「行」く 「弓矢」 「地図」 「東西南北」

「知」る 「方角」 「教」える 「食」べる

「谷」 「走」る 「止」まる 「通」る

「岩」 「丸」い 「引」く 「元気」 「帰」る

(れい)

やがて、山のふもとに「東西南北」をしめす道しるべが見えてきました。

[資料16] 「漢字の広場 2年生で習った漢字③」 (3年上 P82)

きせつや週、一日の出来事など時を表す言葉を集めました。その後に続く言葉とあわせて、その時々々の出来事を想像して、文章を書きましょう。2年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

「春」 — 「風」

「夏」 — 「海」

「秋」 — 「米」

「冬」 — 「雪」

先「週」 — 「読書」

「今週」 — 「毎朝」 — 「当番」

「来週」 — 「遠」足

生「活」

「朝」 — 「明」るい「光」

「午前」 — 勉強

「昼」 — 給食

「午後」 — 体育

「夜」 — 「星」

「思」い出す — 日「記」

(れい)

さわやかな「朝」です。「明」るい「光」が、まどからさしこんできます。

[資料17] (はがきや封書の宛名の書き方) (3年上 P85)

手紙は、ふつう、次の部分からできています。

1. 前づけ
2. はじめのあいさつ
3. 本文
4. むすびのあいさつ

前づけは、後づけにする場合もあります。次に、お礼の手紙の礼があります。1. 2. 3. 4. のそれぞれについて、どんなことが書かれているかを確認しましょう。

[資料18] (本の仕組み) (3年上 P88)

(本の仕組み)

1. カバー — 本の外側を覆っている紙
2. 表紙 — 本の表側で、題名が書いてあるほう
3. 背 — 本を閉じてある部分
4. 小口 — 背の反対側で、ページをめくる側の部分
5. 天 — 本を立てて置いたとき上になるところ
6. 地 — 天の反対側。本を立てて置いたとき下になるところ
7. しおり — 本の背の上側から伸びていて、ページに挟み、読んだところをすぐ探せるようにする紐
8. みかえし — 表紙をめくってすぐのページ
9. 扉 — みかえしの次のページ

[資料19] 「漢字の広場 2年生で習った漢字④」 (3年下 P23)

日曜日の家の中の様子です。だれが、どんなことをしていますか。短い文を作りましょう。主語の後には、読点を打ちましょう。2年生で習った漢字には、「 」がつけてあります。

日曜日

「母」 集金の人 — 「万」 円

「兄」 「画用紙」 「絵」 「人形」 「天才」

「父」 「姉」 「台所」 「戸」 だな 「肉」 「里」 いも

「弟」 「親友」 「組」 む 「黄色」 いぼうし 「同」 じ

おばあさん 「京」 都 お「茶」

「妹」 「庭」 「何回」 なわとび

おじいさん 小「刀」 船

(れい)

おじいさんが、小「刀」で木をけずって、「船」を作っています。

[資料20] (南さんが書き出したメモ) (3年下 P56)

自転車がなくなった。 — いつ — どこで — だれが — 何を — なぜ —
どのように — それから、どうなった。

いつ — 十一月 — 土曜日

どこで — スーパーマーケット — 自転車おき場

だれが — ぼく — まなぶ (ぼくに起こった出来事だけど、物語らしく、ちがう名前にしてみよう。)

何を — 友だち2人のたんていだんを作った。 — 自転車を見つけるため。 — あちこちさがす。またはいろいろな人に聞く (ここをくわしく書きたいな。)

なぜ

どのように

それから、どうなった。 — 妹が乗っていた。 — 妹にはらをたてた。 — ぼくが注意された (ほんとうにあったことなんだ。)

[資料21] 「漢字の広場 2年生で習った漢字⑤」 (3年下 P59)

家を出て、線路まで歩いて行くと、次のようなようすです。それらの言葉を使って、文章に書きましょう。2年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

ぼくの「家」 「門」 「書店」 「近」 所

「広場」 「公園」 「交番」

「魚市場」 「道」 路 「自」 動車

「野原」 野球の「点数」を競う

「寺」 「線」 路 「汽」 車

「晴」 天 「雲」

(れい)

魚市場では、男の人が荷物を運んでいます。

[資料22] 「漢字の広場 2年生で習った漢字⑥」 (3年下 P87)

それぞれの教科でどんなことをしますか。日記をつけるように、文を書きましょう。2年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

「黒」板 「時間」わり 日「直」
「国語」 — 「話」し合う 発「言」 「毛」筆
「社会」 — 「新聞」 「考」える
「算数」 — 「計算」 「答」える
「理科」 — 「電池」
「図画工作」 — 「切」る 円の「中心」
「体育」 — 「サッカー」
音「楽室」 — 「歌」う
(れい)

今日は、「理科」の「時間」に、かん「電池」と豆「電」球を使ったじっけんをした。

[資料23] 「百人一首を楽しもう」

昔の書き方では次のように書きます。(3年下 P130-133)

人わ — 人は
におい — ひほひ
いにしえ — いにしへ
きよ — けふ
いたずらに — いたづらに
干すちょ — 干すてふ
夏の夜わ — 夏の夜は
いづこに — いづこに
宿るらん — 宿るらむ
出づる — 出づる
寝ん — 寝む
もみじ葉わ — もみぢ葉は
折らん — 折らむ
置きまどわせる — 置きまどはせる
空音わ — 空音は
逢坂の関わ — 逢坂の関は
めぐり逢いて — めぐり逢ひて
かよい路 — かよひ路
吹き閉じよ — 吹き閉ぢよ
おとめ — をとめ
とどめん — とどめむ
思うと — 問ふと
問うまで — 問ふまで
通う — 通ふ

昔の書き方では次のように書きます。(3年下 P135)

よるさえや — よるさへや
通い路 — 通ひ路
よくらん — よくらむ
逢いて — 逢ひて
しおるれば — しをるれば
言うらん — 言ふらむ
いづくも — いづくも
逢わんとぞ — 逢はむとぞ
思う — 思ふ

[資料24] 「漢字の組み立て」 (4年上 P22-23)

かんむり
くさかんむり 「はな」び かい「か」
「め」ばえ はつ「が」
め「ぐすり」 しょうどく「やく」
うかんむり 「いえ」じ 「か」てい
「やす」らか 「あん」しん
たけかんむり え「ふで」 もう「ひつ」
ふで「ばこ」 す「ばこ」
あめかんむり あま「ぐも」 「うん」かい
「ゆき」ぐに しん「せつ」

あし
こころ 「わる」もの 「あく」にん
「い」み けつ「い」
「かん」どう 「かん」しん
れんが(れっか) 「しょう」めい ひ「で」り
「てん」か 「てん」とう
はつ「ねつ」 「ねっ」しん

にょう
しんにょう(しんにゅう) 「とう」で 「えん」そく
「ちか」みち 「きん」じょ
おもて「どお」り 「つう」がく

たれ
まだれ そう「こ」 しゃ「こ」
「ひろ」ば 「こう」だい
「みせ」さき かい「てん」

かまえ
くにかまえ 「と」しよ 「ず」めん
こう「えん」 でん「えん」
しま「ぐに」 がい「こく」
もんがまえ うみ「びら」き 「かい」し
「せき」しよ 「かん」けい
「ま」ちか にん「げん」

[資料25] 「話す言葉は同じでも」 (4年上 P34-35)

1. 本を読んでいるたかしさんにひとみさんが話しかけました。たかさんの返事で、……。

ひとみ 「今日、はじめて25メートル泳げたよ。」
たかし (本に向かったままで) 「そう。それはよかったね。」

ひとみ 「今日、はじめて25メートル泳げたよ。」
たかし (ひとみさんの方を向いて) 「そう。それはよかったね。」

2. 次の会話はひとみさんとたかさんの会話です。たかさんの返事は、なぜちがったので……。

ひとみ 「音楽室に、ノートを置き忘れていたよ。」
たかし (うれしそうに) 「助かった。ありがとう。」

ひとみ 「音楽室に、ノートを置き忘れていたよ。」
たかし (すまなさそうに) 「ごめんなさい。これからは、気をつけるね。」

3. たかしさんとひとみさんが話しています。間をおいたのと……。

ひとみ 「わたしが言ったこと、まちがっていたかな。」

たかし (間を置かず) 「そんなことないよ。」

ひとみ 「わたしが言ったこと、まちがっていたかな。」

たかし (間を置いて) 「そんなことないよ。」

[資料26] 「漢字の広場 3年生で習った漢字①」 (4年上 P47)

次の言葉を使って、この町の住人になったつもりで、町やまわりの様子を紹介する文章を書きましょう。3年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

「ほうそうきょく」 し「やくしょ」 「もう」 しこみ

「びょういん」 「いしゃ」 「くすり」

「ぎん」 こう

たいやきや ぎょう「れつ」

おみせ 「しょうひん」 「ようふく」

「りょかん」

「はたけ」 「のう」 か まめ

やさいの「やす」 うり

「さか」 お「みや」

ぼくじょう 「ひつじ」

「みずうみ」 ポート

せん「ろ」 「てっきょう」 「えき」 「と」 し

うみ 「みなと」 「なみ」 「しま」

(れい)

「銀」行のうらに、おいしいたいやきの店があります。いつも長い行「列」ができます。

[資料27] 「漢字の広場 3年生で習った漢字②」 (4年上 P83)

第8回ふれあい祭りの会場には、たくさんの人が集まっています。次の言葉を使って、人々が「していること」を中心に、文章を書きましょう。3年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

「だい」 8かい ふれあい「まつ」り

きに「のぼ」る きの「み」 ひなを「まも」る

はたを「お」こす うでずもうで「か」つ 「ま」ける

ダーツで「あそ」ぶ 「めい」ちゅう

「すみ」びでやく

ケーキを「ぜんぶ」とる 「ひと」しい きりかた

こう「へい」 「くば」る ろうそくを「け」す

ひろばのちゅう「おう」 りょうりを「はこ」ぶ

のみものを「そそ」ぐ 「にが」い

トイレは「し」ようちゅう 「つぎ」 「ま」つ

「ゆう」めいじん マイクを「も」つ

さ「ぎょう」 つくえを「うご」かす 「かる」い 「おも」い

たい「よう」 「あつ」い

(れい)

木に「登」ろうとしている男の子がいます。その頭に、木の「実」が落ちてきました。

[資料28] 「カンジーはかせの漢字しりとり」 (4年上 P101-103)

「カンジーはかせの漢字しりとり」

(吹き出しの話者をわかば、ふたばとして付記)

(課題文を修正し、解答を入れて掲載)

第1問 次の熟語は漢字しりとりになっています。熟語の意味を調べましょう。

1. 小「屋」→屋「台」→台「風」→風「船」→船長
2. 赤「道(みち)」→道「順」→順「調」→調「子」→子孫
3. 起「立」→立「春(はる)」→春「風(ふう)」→風「力(りき)」→力走
4. (1)外「出」→出「発(はつ)」→発「言(こと)」→葉脈
(2)外「出」→出「航」→航「海(うみ)」→海「風(かざ)」→風上
5. (1)雨「天」→天「地」→地「図」→図「形」→形式
(2)雨「天」→天「氣」→氣「分」→分「数」→数字

第2問 次の熟語は漢字しりとりになっています。熟語に意味を調べましょう。

入「会」→会「場(ば)」→場「合(ごう)」→合「同」→同「時」→時「間」→間「食」→食「事」→事「実」→実「力(りき)」→力「作(さつ)」→作「家」→家「屋」→屋「上」→上「達」→達「人(にん)」→人「気(け)」→気「配」→配「線」→線「路」→路「地(ち)」→地「下(げ)」→下「校」→校庭

第1問 次の四つの熟語は同じきまりでできたしりとりです。熟語の意味を調べましょう。

1. 新聞→文章→消毒→読者→写真→森林
2. 1兆円→遠足→速度→土台→大臣→神社
3. 前転→天才→最近→金貨→家屋→億万長者
4. 先生→正答→投票→表紙→詩集→終点

第2問 次のしりとりは、同じ読み方の漢字で繋がっています。それらの熟語の意味を調べてみましょう。

(スタート)→21世紀→気候→交代→太陽→曜日→美化→歌手→種子→氏名→命中→昼食→植物園→遠泳→英語→午前→全体

[資料29] 「漢字の広場 3年生で習った漢字③」 (4年上 P117)

午後の学校の様子です。どこで、どんなことが行われていますか。次の言葉を使って想像したことも加えて、文章に書きましょう。3年生で習った漢字には、「 」がつけてあります。

—うんどうじょう—

ぴっちゃー 「はや」い 「たま」 「な」げる
「ひろ」う やまだ「くん」 ひっ「し」 「う」つ
ひとが「あつ」まる

—かだん—

「りょっかいいん」 はなを「そだ」てる
「かかり」 「しごと」 そうじよう「ぐ」 「せい」り
—ほけんしつ—

「はなぢ」がでる 「は」がいたい

—2かいのきょうしつ—

がっ「きゅう」 こく「ばん」 「よてい」
「そうだん」

—としょかん—

「き」かん 「かえ」す 「どう」わ 「しんわ」
「せかい」ちず じ「ゆうけんきゅう」
—つうがくろ—

「おう」だん しん「ごう」 「た」こうせい
(れい)

2階には、4年生の教室があります。学「級」のみなで、今月の目標を「相談」しています。

[資料30] 「漢字の広場 3年生で習った漢字④」 (4年下 P59)

次の言葉を使って、場面や出来事を考えながら、2つの昔話を完成させましょう。句読点に気をつけて、読み直しましょう。3年生で習った漢字には、「 」がつけてあります。

「おむすび ころりん」

むかしばなしの 「はじ」まりです。

おじいさんが おむすびを 「お」とす

おむすびが 「ころ」がる

おじいさんが おむすびを 「お」う

おじいさんが 「いそ」ぐ 「すす」む

あなが 「くら」い 「ふか」い

おじいさんが 「の」む 「さけ」 「さら」

ねずみが お「れい」

うちでの こづち 「こうふく」

「お」わり

「うらしまたろう」

むかしばなしの 「はじ」まりです。

こどもたちが かい「がん」で かめを いじめる

「わる」い こどもたち かめは 「かな」しい
うらしまたろうは かめを 「たす」ける
こどもたちは 「さ」る
かめに 「の」る
かめが 「およ」ぐ
竜宮城に 「むか」う
「うつく」しい 竜宮城に 「つ」く
おみやげを 「う」け「と」る
たまた「ばこ」を 「あ」ける
「お」わり
(れい)

昔話の「始」まりです。ある日のことです。おじいさんは、昼ごはんのおむすびを「落」としてしまいました。

[資料31] 「熟語の意味」 (4年下 P70)

訓を手掛かりにして、次の言葉の意味を考えましょう。

ぼくと一(き・かたな) こがい(と・そと) りゅうせい(ながれる・ほし) ちくりん(たけ・はやし)
たす一(おおい・かず) でんごん(つたえる・ことば) しんかい(ふかい・うみ) につこ一(ひ・ひかり)
こっき(くに・はた) まんげつ(みちる・つき) ほど一(あるく・みち) けんがく(みる・まなぶ)

[資料32] 「熟語の意味」 (4年下 P71)

がんせき(いわ・いし) はくし(しろい・かみ) めいあん(あかるい・くらい) かいが(え・えがく)
うせつ(みぎ・おる)

[資料33] 「漢字の広場 3年生で習った漢字⑤」 (4年下 P89)

休日の様子です。次の言葉を使って、どこで、どんな人が、どんなことをしているかを、文章に書いてみましょう。3年生で習った漢字には、「 」がつけてあります。

「にわ」 いけの「こおり」 「さむ」い
しゃ「こ」 「やね」 バドミントンの「はね」 「みじか」いぼう
たくはいびん 「にもつ」 「じゅうしょ」 きゅう「しゅう」
「はしら」 おんなのこの 「しん」ちょうを はかる
か「ぞく」 「りょう」しん 「かわ」むき 「なが」し お「ゆ」 「あじ」み 「あぶら」あげ「なが」し
2「かい」 お「きやく」さま けっこん「しき」の 「しゃしん」
1「ちょう」め 「ま」がりかど しろい「いき」
(れい)

「庭」では、めがねをかけた男の子が、左足で池の「氷」をつついてわっています。

[資料34] 漢字の広場 3年生で習った漢字⑥ (4年下 P99)

次の言葉を使って、学校や家での勉強について文章に書いてみましょう。3年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

ほんの「しゅ」じんこう 「かんそう」
ぶん「しょう」 「し」 もう「ひつ」
50メートルそう 「ふえ」 ストップウオッチ 「びょう」
「べん」きょう 「もんだい」 「めん」せき 2「ばい」
「しょくぶつ」 「は」 「おんど」けい
「し」めい 「い」けん 「はんたい」 たすう「けつ」
ち「く」センター 「けん」りつとしょ「かん」
「しら」べる 「むかし」 「しょうわ」
「はっぴょう」 「だいひょう」
「しゅくだい」 「かん」じ 「れんしゅうちょう」
(れい)

「県」立図書館「館」で、「昔」の暮らしについて「調」べた。また、きんじょのおじいさんからもくわしく話を聞いた。

[資料35] 「漢字の広場 4年生で習った漢字①」 (5年 P27)

うめおばあちゃんになって、日記を書きましょう。ふさわしい修飾語を使って、くわしく表してみましよう。4年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

「し」 めい やまだうめ きょうと「ふ」 ○○「ぐん」 いえの「くら」 いぬのくび「わ」 「おっと」 えん「げい」
道のりょう「がわ」にはさくら ばす「てい」 「と」ほ ふるい「たて」もの 「あい」けん 「さん」ぼ 「はく」ぶつかん
「ひ」こう「き」にのる 「な」のはなの「きせつ」 し「ぜん」 ふう「けい」 「ぼく」じょうの「しゅうい」に「せい」
りゅう 「とつ」きゅうで○○えき

「がいたう」のしたにせんえん「さつ」がおちていた けいさつ「かん」にとどける
(れい)

今日は、「夫」といっしょに古い「建」物を見に行った。2人で話をしながら、ゆっくりと「徒」歩で目的地まで向かった。

【資料36】 「3. 二つの記事を比べよう」 (5年 P33)

記事(1)

北島に強敵 1位通過は北欧の伏兵 (見出し)

(自分の記録を確認する北島選手の写真) (両手を挙げるダーレオーエン選手の写真)

「やるしかない」闘志再び (見出し)

記事(2)

北島失速 決勝に不安 (見出し)

(自分の記録を確認する北島選手の写真)

【資料37】 「漢字の成り立ち」 (5年 P36)

「漢字の成り立ち」 (言葉)

漢字は、今から三千年以上も前に、中国で生まれました。最初は、物の形や様子などを絵のようにえがいて表していましたが、それがだんだん変化して、今のような形になりました。また、それらの漢字を組み合わせることによって、新しい漢字が次々に作られました。

漢字の成り立ちには、大きく分けて、次の四つのものがあります。

1. 目に見え物の形を、具体的にえがいたもの。

(漢字の例) 馬・山・門・火・手

うま

(点線文字)



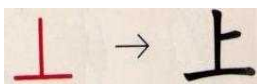
2. 目に見えない事がらを、印や記号を使って表したもの。

(漢字の例) 上・下・三

上—基準になる線の上に印を付けた。

うえ

(点線文字)



3. 漢字の意味を組み合わせたもの。

(例) 鳴く・信じる・動く

「鳥」と「口」 → 「鳴く」

4. 音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせたもの。

意味を表す部分 音を表す部分 ふん こ こな
 (点線文字) 米 分 米粉

4. のような組み合わせでできた漢字が、いちばんたくさんあります。

次の「 」の漢字は、4. で説明しているように、音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせてできています。漢字の意味を辞典などでたしかめましょう。

[資料38] 「漢字の広場 4年生で習った漢字②」 (5年 P54)

運動会の様子を伝える文章を書きましょう。こそあど言葉も、いくつか使ってみましょう。4年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

「あん」ないがかり 「せつ」めいする 「さく」やぷろぐらむを「いんさつ」する 「お」る
 きばせん ごう「れい」 「さんか」する 「あそ」う 「たか」う 「わら」う 「よろこ」ぶ まける 「ざんねん」
 「かん」きゃく「せき」 「はた」をふる 「れんしょう」することを「ねが」う そうがんきょうを「か」りる
 「とく」てんぱん あか234てん しろ243てん
 「てい」がくねん 「な」く しょう「どく」する 「ほうたい」
 (れい)
 「ここがいたい。」と「泣」きながら、「低」学年の子が先生にきずを見せています。

[資料39] 「伝記を読んで、自分の生き方について考えよう」 (5年 P74)

伝記

人物がしたこと (何を)
 人物がしたこと (どのように)
 人物の考え方

読者 (あなた)

普段考えていること
 実生活の体験
 読書体験
 持っている知識

→ (考えたこと)

- (1) こうなりたい。
- (2) このようにしたい。
- (3) 考えが変わった。
- (4) 考えが深まった。
- (5) 新しく知った。
- (6) 初めて考えてみた。

[資料40] 「漢字の広場 4年生で習った漢字③」 (5年 P83)

作家になったつもりで、ぼうけん家の半生を文章に書きましょう。「それで」「けれども」などの、つなぎ言葉も使いましょう。4年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

ゆめこ 「じ」どうかい「ふく」かいちょう 「そつ」ぎょう もく「ひょう」 「けつ」てん はん「せい」 「あらた」め
 る 「せつきよくてき」 「ど」りよく 「えい」ご
 「ひ」こう「し」になる てん「こう」 「りょうこう」 「ふ」あん 「れいせい」 しまで「きゅう」じよ
 しまのひと 「なか」よし 「きぼう」 「きょう」りよく く「ろう」してふねづくり 「しっぱい」 「あさ」い 「せい
 こう」
 しまのひとびとと「わか」れ しゅつ「こう」 ふなで 「ゆう」き 「しんねん」 「ぶ」じ 「しゅく」ふく

(れい)

4年生までのゆめ子は、内気な女の子だった。しかし、5年生のとき、「勇」気をだして「児」童会「副」会長にりっこうほした。

[資料41] 「漢字の読み方と使い方」 (5年 P124)

次の1.～4.の「」の部分もそれぞれ同じ漢字です。

1. 本「みょう」 「めい」案 「めい」人 大「みょう」
2. 音「がく」 「がっ」器 気「らく」 「らく」園
3. 「にち」時 連「じつ」 休「じつ」 来「にち」
4. 「しょう」面 公「せい」 「せい」式 「しょう」月

[資料42] 「天気を予想する」 (5年 P132)

表2 1時間降水量50ミリメートル以上の発生回数(気象庁資料より)

年	年間平均発生回数(回)
1976-1987	160
1987-1997	177
1998-2008	239

[資料43] 「グラフや表を引用して書こう」 (5年 P138)

くらしやすさ

1. ユニバーサルデザイン
2. 電化製品 — 便利(家事にかかる時間が短くなった。)
3. リサイクル活動

……

くらしにくさ

1. 交通量が多い。
2. 温暖化?(くらしやすさの2.と関る?)
3. ごみ問題

[資料44] 「〈例〉表 家庭からのゴミ排出量」 (5年 P140)

表 家庭からのゴミ排出量(環境省調べ)

年	1人1日あたり(単位g)	総排出量(単位万t)
1998	780	35,994
1999	782	36,220
2000	797	36,844
2001	806	37,381
2002	799	37,118
2003	800	37,321
2004	791	36,838
2005	782	36,471
2006	777	36,220

[資料45] 「同じ読み方の漢字」 (5年 P142)

1. 次の「」の部分と同じ読み方でも、それぞれ違う漢字を使います。

- (1) 「あつい」お茶
- (2) 「あつい」辞書
- (3) 「あつい」夏

(1)～(3)は、いずれも「あつい」という同じ読み方をしますが、意味や使い方は違います。前後の関係から、どんな漢字を使うのが適切かを考えましょう。

2. 次の各文の「」の部分、同じ読み方でも違う漢字を使います。

- (1)

肥料の入った袋の重さを「はかる」。
校庭の木の高さを「はかる」。
往復にかかる時間を「はかる」。

(2)

時計の針が12時を「さす」。
武士がこしに刀を「さす」。

(3)

重大な責任を「おう」。
にげた犯人を「おう」。

次の「 」の部分は、同じ音でもそれぞれちがう漢字を使います。

(1)一週「間」前に発売された週「刊」誌。

(2)公「園」で、人形げきの公「演」を見た。

漢字には(1)の「かん」と(2)の「えん」ように、それぞれ違う漢字でも、同じ音をもつものがあります。そのため、漢字が組み合わせられてできる熟語にも、同じ音で意味のちがうものがあります。

4. 次の文を読んで、同じ音の熟語を選び、それぞれの言葉の意味を、辞典で調べましょう。

- (1)先生達のチームが先制点を取った。
- (2)酸性雨を防ごうという意見に賛成する。
- (3)みんなの先頭に立って銭湯に行く。
- (4)暴風に備えて防風林を作った。
- (5)あの人物の功績は、新しい鉱石を発見したことだ。
- (6)強い意志をもって、医師になった。
- (7)照明がつついたままだったことを証明する。

[資料46] 「わたしたちの『図書館改造』提案」 (5年 P148)

(竹内さんたちのアイデア)

アイデア1 — 「読みたい本はあるけど、さがせない。」という人のために、「本の伝言板」を作ったらどうだろう。

伝言1 教えてください！

少しゆううつな気分のおきでも楽しめる本、笑える話を教えてください。(5の2 いけだ みや)

伝言2 ぜひ読んで ……

伝言3 おすすめします……

アイデア2 — 新しく入った本は、きっとみんな読みたいと思うでしょう。どれが新しいのか、もっとはっきり分かるといいいね。ポスターや本の帯、ポップなどを作って、紹介したらどうかな。

ポップ1 ぼく(小林良太)が、すすめるこの1さつ!!

「不思議な木の家のレストラン」(岡田淳作)

ポップ2 水玉もようのかさにさそわれて。

「きりのむこうのふしぎな町」(かしわば さちこ)

あらすじ…

帯 引っ込み思案で内気なローワン。そんなローワンが、村を救う勇者に選ばれた。果たして彼は村を救うことができるのか。

アイデア3 — とにかく図書館に足を運んでもらえるように、何かきっかけになる会をしたらどうかな。定期的に、ブッ

クトークをしたらどうだろう。

[資料47] 「漢字の広場 4年生で習った漢字④」 (5年 P161)

各教科での学習や学校生活について、学級日誌に記録するように、文章を書きましょう。4年生で習った漢字には、「」をつけてあります。

こくご かんじ「じてん」 おん「くん」 よう「れい」
しゃかい 「はたら」く 「ぎょ」ぎょう 「さん」ぎょう 「きかい」こうぎょう たい「りょう」せい「さん」 「つた」
える にほん「かく」ち き「しょう」 「れきし」 20せい「き」
さんすう 「おぼ」える 「たんい」 「ちょう」 「おく」 めん「せき」 ていへん ちょっ「けい」
りか じっ「けん」ほう「ほう」 「しけんかん」 「こ」たい 「へん」か でんきのせつ「ぞく」 「かんさつ」 よう
「みやく」 「め」 「たね」
「きゅう」しよく
おんがく がっ「しょう」 がっ「き」
(れい)

社会科の時間には、日本「各」地に昔から「伝」えられている「産」業について学習しました。

[資料48] 「漢字の広場 4年生で習った漢字⑤」 (5年 P179)

だれが、どこで、何をしていますか。主語と述語の関係や、読店の位置に気をつけて、文を書きましょう。4年生で習った漢字には「」がつけてあります。

「しょう」めいのついた ちゃのま
おばあさん — こう「こく」 ひゃっ「か」てん ねん「まつ」おおうりだし 「いちょう」やく
「まご」 — 「へいたい」のにんぎょう
おかあさん — ご「はん」 「うめ」ぼし 「しお」
おとうさん — 「や」きざかな 「けんこう」 「えいよう」 「まん」てん
おじいさん — 「よく」しつ 「かがみ」
2かいのへや
おねえさん — 「いるい」 しゅっ「び」 「ちょ」きんばこ
おにいさん — とんでいるむし 「さつ」ちゅうざい
となりのいえのだいどころ
おかあさんとおとうさん — 「ざいりょう」 こむぎ「こ」 ケーキ「がた」 オープンの「かねつ」
にわ
おんなのこ — 「す」ばこ 「ぐん」て とり「つ」ける 「まつ」のぼんさい
ゆうびんやさん — はい「たつ」
(例)

茶の間にいるおばあさんは、「孫」が喜びそうなものはあるかしらと思いながら、百「貨」店の広「告」を見えています。

[資料49] 「すいせんします」 (5年 P180)

(目的)

特産物を使った料理、昔からこの土地で食べられてきたものと、その作り方を教えてもらう。

(条件)

特産物を知っている人

料理のことをよく知っている人

料理を作れる人

昔のことを知っている人

学校に来てくれる人→近くに住んでいる。時間がある。

[資料50] 「桜が満開の学校の場面を選んだ場合」 (5年 P214)

桜

- 春 — 花見・うきうき — 楽しい
- 入学式 — うきうき
- 青空
- 枝 — 花びら — ひらひら・ピンク
- 枝 — 幹
- 新学期

学校

- 校庭 — 放課後 — 帰る・わくわく — 走る
- 校舎 — 教室 — 先生・友達・つくえ
- つくえ — 席がえ — わくわく・どきどき

[資料51] 「漢字の広場 4年生で習った漢字⑥」 (5年 P216)

新聞記者になって、今日一日の出来事を報道する文章を書きましょう。「いつ」「どこで」「だれが」など、必要な事गरを考えましょう。4年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

こっかい「ぎ」じ「どう」 だい「じん」 せい「じ」か 「せんきょ」 とう「ひょう」 「み」らい 「か」だい りっこ
うほ 「やくそく」 ほう「ち」じてんしゃ こう「がい」 こく「みん」 「かん」しん 「ようきゅう」
こう「きょう」しせつ 「ひつよう」 「べんり」 「ろう」じん
ロボットコンテスト ロボット「かんせい」 じゅ「しょう」しき 「し」かいしゃ
「りく」じょう「きょう」ぎ はしりたかたび 「はつ」しゅつじょう 「けっか」 2メートル「い」じょう 「さい」こう
き「ろく」 たい「さ」 「じゅんい」

(例)

今日の午後、駅前で政「治」家が演説をした。多くの人々が、「関」心をもち、足を止めていた。

[資料52] 「漢字の広場 5年生で習った漢字①」 (6年 P29)

町のあちこちで、いろいろな出来事が起きています。次の言葉を使って、新聞記事のように、出来事を伝える文章を書きましょう。5年生で習った漢字には、「 」がつけてあります。

しん「かん」せんのかき
〇〇けんのけん「きょう」 じ「こ」げん「いん」
うん「が」 「おり」ものこうじょう 「ぎじゅつ」
もく「ぞう」のおてら ぶんか「ざい」 「ぼ」ち
「ふっきゅう」こうじ 「ぼうさい」くんれん
「せん」とう かい「ちく」 おお「ぜい」 「こんざつ」
「だん」ち にゅう「きよ」
きけんぶつおきば 「きそく」 たちいり「きん」し
こうえん 「りやく」ず 「せつ」ち きの「い」しよく 「ひ」りょう 「どうぞう」

(例)

県「境」付近で自転車どうしの事「故」があった。原「因」は、運転者が、どちらも運「河」の船を見ていたためと分かった。

[資料53] 「ようこそ、私たちの町へ」 (6年 P50)

構成

- 全体の構成と、それぞれのページの割り付けを考えます。次のような、簡単なページの案を作ってもいいですね。
- 表紙 — 題名、目次
- それぞれのページ — 見出し、解説、インタビューの様子、写真（必要に応じて、このページを増やす。）
- 終わりのページ — 協力してくれた人や参考資料

[資料54] 「漢字の広場 5年生で習った漢字②」 (6年 P57)

次の言葉を使って、キャンプ場での人々の行動を考えて文章を書きましょう。友達が書いたものを読んで、上手だなと思う文を見つけましょう。5年生で習った漢字には、「 」がつけてあります。

「けわ」しいやまみち たん「どく」 「ひき」いる 「ささ」える 「あつぎ」 「ひじょう」しょく
こうげん はんもっくは「かいてき」 きの「えだ」 ふくが「やぶ」れる てんとを「は」る ペグを「と」める
じゅん「じょ」をし「じ」する

しょくじが「あま」る しょつきを「か」す ひが「も」える 「まね」く かずが「へ」る につ「てい」ひょう
キノコを「と」る 「くら」べる かわまで「おうふく」 みずくみ みずが「ふ」える
スズメバチが「むら」がる ゆ「だん」たい「てき」

(例)

もっとも「険」しい道すじを選んで、単「独」で山登りにいどんでいる人がいます。

【資料55】「漢字の形と音・意味」 (6年 P72～73)

(同じ部分で同じ音)

- (1) わたしたちの要「きゅう」が認められた。
- (2) プロ野「きゅう」のリーグ戦が開幕した。
- (3) 負傷者は、「きゅう」急車で病院に運ばれた。
よう「きゅう」 や「きゅう」 きゅう「きゅう」

求 球 救

(1)～(3)の「 」の付いた言葉は、どれも「きゅう」という音ですが、違う漢字が入ります。漢字の形に着目すると、どれも「求(もとめる)」の部分共通しています。このように、同じ部分を持つ漢字は、形ばかりでなく音も共通する場合があります。

次の各文の「 」の中の言葉に当てはまる漢字を、後の漢字から選びましょう。どの部分が共通で、どんな読み方でしょうか。

1.

警備を強「か」する。

県庁のそばの桜が開「か」した。

蒸気機関車が「か」物列車を引っ張る。

か か(はな) か(ばける)

貨 花 化

2.

「せい」潔な洗面所で顔を洗う。

リーダーには、冷「せい」さが必要だ。

あの「せい」年は、聖火ランナーを務めたことがある。

「せい」天なので、洗たく物を干す。

せい(あお) せい(しずか) せい(はれる) せい(きよい)

青 静 晴 清

3.

乳児の体重を「そく」定する。

規「そく」正しい生活をする。

箱の「そく」面に名前を書く。

そく そく(はかる) そく(かわ)

則 測 側

(同じ部分と意味)

ごんべん — 「ことば」や「表現」などの意味を表す漢字に使われる。

ごんべん き(しるす) き やく ご(かたる) ちょう(しらべる) し どく(よむ) し

信 記 議 訳 語 調 詩 読 誌

にくづき — 元は「肉」で、体に関係のある漢字に使われる。

にくづき のう ぞう はい い ちょう

肉 脳 臓 肺 胃 腸

第1巻で学習する漢字を中心に、次の部分の表す意味を考えてみましょう。

うかんむり てへん りっしんべん りっとう



[資料56] 「漢字の広場 5年生で習った漢字③」 (6年 P83)

次の言葉を使って、作家になったつもりで、探偵物語を書いてみましょう。5年生で習った漢字には、「」がつけてあります。

「まず」しいねこのおやこ こねこ 「まよ」う じ「けん」 おやねこに「しつ」もん たんてい 「きょう」み
「かのうせい」 「か」せつをたてる すい「そく」する 「けんしょう」する 「に」がおえをかく
「じょうほう」 「にんむ」 ちょう「さ」 「せい」りょくてき いっしんいっ「たい」 「げん」かい
「せきにん」かん ちょうさ「さい」かい たんてい 「たし」かめる 「しき」べつ 「ほご」する 「かい」けつ
ねこのおやこ かん「しゃ」

(例)

あるところに「貧」しいねこの親子がいた。ある日、子ねこがどこかで「迷」ったのか、いなくなってしまった。

[資料57] 「漢字の広場 5年生で習った漢字④」 (6年 P129)

次の言葉を使って、高学年になってからの学習や活動を思い出し、家の人に伝える文章を書きましょう。5年生で習った漢字には、「」がつけてあります。

がっきゅうかい 「てい」あん 「さん」せい 「か」はんすう
こくご 「ふく」ごうご はい「く」
ずこう はんが
しゃかい 「せい」じか 「ぎむ」 「ぜい」きん 「そう」りだいじん 「き」ほんてきじんけん
「し」げん 「こう」ぶつ 「りょう」ど こく「さい」 「ゆしゅつ」 「ぼうえき」 「じょう」やく
「ぶ」し 「とう」いつ のう「こう」

どう「とく」「の」べる

りか でんき かいの「どう」せん きん「ぞく」 「えき」たい 「さんそ」

(例)

理科で、くぎに「導」線をまいて電気を流すと、じしゃくに変わることを知った。金「属」がくつついたのでおどろいた。

[資料58] 「この絵、わたしはこう見る」 (6年 P142～143)

ここの二つの作品があります。

俵屋宗達の「風神雷神図」(左に雷神、右に風神が描かれた左右で一對の作品)

パブロ・ピカソの「3人の楽士」

1. 作品を鑑賞する時には、次のようなことを手掛かりにします。

何(だれ)

身につけているものや持っているもの

どこ(場所)

形

色

線

位置

ポーズ

音・においなど

不思議だ、分からないと感じるところ

絵をかいた人の思い

草野「『どうして、こんなポーズなんだろう。』『この絵でどんなことを伝えたかったのだろう。』というように、問いを立てながら見るんだね。」

[資料59] 「漢字を正しく使えるように」 (6年 P146)

みなさんは、これまでに、多くの漢字を習いました。

どんな漢字を使うか迷ったり、誤った漢字を使ってしまったりしやすいものに、「同じ読み方をする漢字」があります。国語辞典や漢字辞典などがあれば、引いて意味を確かめられますが、ないときには、どうすればいいでしょう。

都を「うつす」 写真を「うつす」, 「証明」書 「照明」係のように、読み方は同じでも、意味の異なる言葉が

あります。「この場合は、どの漢字を使うのかな。」と迷ったら、次のように考えてみると、正しい漢字がわかることがあります。

(訓読みの場合)

1. その言葉を漢語で言い表してみる。

穀物を倉庫に「うつす」。(移動の「い」, 写真の「しゃ」)

杉浦「この『うつす』は『移動する』と言いかえられるな。だから、…」

同じように考えてみましょう。

(1) 墓前に花を供え、「まわり」をそうじする。(回転数の「かい」, 周囲の「しゅう」)

(2) 指示に従って、作業が予定通り進むよう「つとめる」。(夜勤の「きん」, 努力の「ど」, 任務の「む」)

2. その言葉を別の訓読みで言い表してみる。

部屋のまどを「あける」。(あか__るい, ひら__く)

坂井「『まどをあける』というのは、『まどを開く』と言いかえることができるな。ということは、…」

同じように考えてみましょう

温かいスープがさめる。(ひ__える, おぼ__える)

3. その漢字を使った熟語を思いうかべてみる。

延長戦の末、「やぶ__れる」。(敗戦の「はい」, 破壊の「は」)

草野「『敗退』『敗北』、『破損』『連破』…。試合に負けるというような意味を表す言葉に使われているのは…。」

同じように考えてみましょう。

(1) 音楽家が、意欲的に新しい曲をつく__る。(作品の「さく」, 建造物の「ぞう」)

(2) 空き地に家がた__つ。(国立の「りつ」, 建築の「けん」)

(音読みの場合)

1. その漢字の訓読みを考えてみる。

「しょう」人数で学習をする。

中原「大小の『小』の訓読みは『ちいさい』, 少年の『少』の訓読みは『すくない』。『しょう人数』は、少ない人数ということだから、…。」

同じように考えてみましょう。

(1) 諸条件を考えて、仮「せつ」を立てる。(と__く, もう__ける)

(2) 試合再「かい」のアナウンスに、観衆は喜んだ。(あ__う, ひら__く)

音読み・訓読みを考えたり、同じ漢字を使うほかの言葉を挙げたりすることは、その漢字の「意味」を考えることでもあります。自分が書こうとしている言葉の意味と、その漢字の意味を、いつも考えるようにしましょう。

次の「 」で囲んだ部分は、読みが同じであるためにまちがえやすい漢字の例です。正しい漢字と使うためには、どのように考えればいいでしょうか。

(1) すずしい「こ」かげで休む。

(2) 独り「ごと」をつぶやく。

(3) 本箱を「こ」定する。

(4) 交「たい」で見張りをする。

(5) 2つの作品を対「ひ」する。

[資料60] 「漢字の広場 5年生で習った漢字⑤」 (6年 P171)

次の言葉を使って、商店街の通りやお店の中の様子を、文章に書きましょう。会話を想像して書き、その効果を考えましょう。5年生で習った漢字には「 」がつけてあります。

こめや — 「たわら」 「しょう」ち 「おう」たい

めがねや — 「そ」ふ ろう「がん」きょう 「たい」ど

べんとうや — 「べん」とう 「ひょうばん」 2「こ」り「えき」 「えい」せい

スーパー — はん「がく」 「かかく」 しなかず「ほうふ」 100えん「きん」いつ

えいがかん — にゅうじょう「けん」
やつきょく — 「き」きめ 「せつ」きやく
せとものや — われる 「そん」がい
ようひんてん — 「めん」 「ぬの」じ
び「よう」いん — せい「けつ」
ぎんこう — 「よ」きん 「はんざい」「ぼう」し
がいろ — 「き」ふのおねがい ねん「がじょう」 ぼすと ゆう「かん」のはいたつ ふう「ふ」 「つま」
「した」をだす アイスをなめる

(例)

配達ですね。何時ごろうかがいましょうか。米屋のおじさんは、元気な声で「応」対しています。

[資料61] 「カンジー博士の漢字クイズ大会」(6年 P188)

スタート 「 」を付けた部分が違うものはどれか。

- (1) む「ごん」
 - (2) おう「ごん」
 - (3) でん「ごん」
1. 「 」を付けた言葉の中で、意味が違うのはどれか。
 - (1) この本の著者には「かんしん」がある。
 - (2) 彼は親孝行で「かんしん」だ。
 - (3) 鉄鋼の輸出量に「かんしん」を持つ。
 2. 次の「 」のなかで違う漢字で書くものはどれか。
 - (1) 体の調「し」
 - (2) 授業の開「し」
 - (3) 白い帽「し」
 3. 反対の意味の言葉の組み合わせとして、まちがっているのはどれか。
 - (1) 拡大 ↔ 縮小
 - (2) 出生 ↔ 死亡
 - (3) 原因 ↔ 理由
 4. 保「けん」室の「けん」と同じ漢字を使うものはどれか。
 - (1) 試「けん」に合格したのは朗報だ。
 - (2) 父は「けん」康に注意して働いている。
 - (3) 危「けん」物を処分する。
 5. 数を表す2つの漢字の画数を足した時、正解はどちらか。
 - (1) 漢数字の「2」プラス漢数字の「6」 イコール8
 - (2) 漢数字の「4」プラス漢数字の「5」 イコール9
 6. 次の「や」について、「いえ」の意味ではないものはどれか。
 - (1) 「や」ぬし
 - (2) 「や」ちん
 - (3) へい「や」
 - (4) あき「や」
 7. 「画数」の「かく」と同じ意味の漢字はどれか。
 - (1) 「かく」張工事
 - (2) 総「かく」索引
 - (3) 視聴「かく」しつ
 8. 次の「し」の漢字の中で、「す」という読み方を持つものはどれか。
 - (1) 曲の歌「し」
 - (2) 雑「し」
 - (3) 花の種「し」
 - (4) 綿「し」
 9. 「 」を付けた漢字の中で、送りがなが間違っているものはどれか。
 - (1) 食料が残り「少__ない」。
 - (2) かみの毛が「短__かい」。
 - (3) 道路で遊ぶのは「危__ない」。
10. 「 」を付けた漢字の中で送りがなの間違っているのはどれか。

- (1) 言葉を「補__う」。
- (2) チラシを「配__ばる」。
- (3) 仏像を「拝__む」。
- (4) 郷里を「訪__ねる」

1 1. 次の文の中で、「役目を果たす」という意味の「つとめる」はどれか。

- (1) 株式会社に「つとめる」。
- (2) 学級委員を「つとめる」。
- (3) 事故防止に「つとめる」。

1 2. ゴール おめでとう。

【資料62】「漢字の広場 5年生で習った漢字⑥」 (6年 P205)

どんなとき、どんなことがあったか、そのとき、どんな気持ちだったか。次の言葉から想像し、文章に書いてみましょう。5年生で習った漢字には、「」がつけてあります。

- にゆうがくしき — こう「しや」 「さくら」
- つうがくろ — しゅう「かん」
- 「じゅ」ぎょう — せい「せき」 「おんし」
- ぶんしゅう — 「こう」せい 「へん」しゅう 「せい」ほん
- うんどうかい — 「あつ」しょう 「だん」けつ
- がくしゅうはっぴょうかい — 「じゅんぴ」 「せい」さく うん「えい」 ねつ「えん」 「けい」けん
- てつぼう — 「さか」あがり
- しいく — 「か」う
- ともだち — 「ぼう」げん 「ぜつ」こう 「ゆる」す ゆう「じょう」 「えいきゅう」
- 「しゅう」がくりょこう — 「しょく」にん 「ぶつぞう」
- そつぎょうしき — 「こう」どう 「ざい」こうせい そつぎょう「しょう」しょ 「ゆめ」 たい「し」

(例)

今日はいよいよ卒業式です。6年前の入学式の日、校「舎」の周りの「桜」が満開で、とてもきれいでした。

【資料63】「特別な読み方をする言葉」 (6年 P264)

- 「あす」(めい みょう あ__かり あか__るい あか__るむ あか__らむ あき__らか あ__ける あ__く あ__く
- るあ__かす、にち じつ ひ か)
- お「かあ」さん(ぼ はは)
- お「とう」さん(ふ ちち)
- 「おとな」(だい たい おお おお__きい おお__いに、じん にん ひと)
- 「かわら」(か かわ、げん はら)
- 「きのう」(さく、にち じつ ひ か)
- 「きょう」(こん いま、にち じつ ひ か)
- 「くだもの」(か は__たす は__てる は__て、じつ み みの__る)
- 「けさ」(こん いま、ちょう あさ)
- 「けしき」(けい、しょく しき いろ)
- 「ことし」(こん きん いま、ねん とし)
- 「しみず」(せい しょう きよ__い きよ__まる きよ__める、すい みず)
- 「じょうず」(しょう うえ うわ かみ あ__げる あ__がる のぼ__る のぼ__せる のぼ__す、しゅ て た)
- 「たなばた」(しち なな なな__つ、ゆう)
- 「ついたち」(いち いつ ひと ひと__つ、にち じつ ひ か)
- 「てつだ」う(しゅ て、でん つた__わる つた__える つた__う)
- 「とけい」(じ とき、けい はか__る はか__らう)
- 「ともだち」(ゆう とも、たつ)
- 「にい」さん(けい きょう あに)
- 「ねえ」さん(し あね)
- 「はかせ」(はく、し)
- 「はつか」(に ふた ふた__つ、じゅう じつ とお と、にち じつ ひ か)
- 「ひとり」(いち いつ ひと ひと__つ、じん にん ひと)
- 「ふたり」(に ふた ふた__つ、じん にん ひと)
- 「ふつか」(に ふた ふた__つ、にち じつ ひ か)

「へた」(か げ した しも もと さ_げる さ_がる くだ_る くだ_す くだ_さる お_ろす お_りる,
しゅ て)

「まいご」(めい まよ_う, し す こ)

「まっ」か(しん ま, せき しゃく あか あか_い あか_らむ あか_らめる)

「まっ」さお(しん ま, せい しょう あお あお_い)

「めがね」(がん げん まなこ, きょう かがみ)

「やおや」(はち や や_つ やっ_つ よう, ひやく, おく や)

点字の表記に関する指導事項

学 年	ページ	指 導 事 項	備 考
導入教材		清音・濁音・半濁音・拗音・拗半濁音・長音・促音・撥音・特殊音・傍線・第1カギ・句点・数符	入門期教材
1 年 上	表紙裏	長音 ㇿ おはよー	はる
	表紙裏	数符 ㇿ 1ねんせい	はる
	12	促音 ㇿ トイレにいていいですか	おはなしよんで
	13	拗音 ㇿㇿ キャベツくん	おはなしよんで
	21	第1カギ ㇿ～ㇿ 「なにがいますか。」 句点(まる) ㇿ□□	ふたりでおはなし
	22	棒線 □ㇿㇿ□ さる□ㇿㇿ□ざる	ふたりでおはなし
	24	読点(てん) ㇿ□ あかいとりㇿ□ことり	あかいとりことり
	31	促音教材 ねこ ねっこ	はなのみち
	37	長音教材 おかあさん	なぞなぞあそび
	40	第1つなぎ符 ㇿ 50 ㇿㇿㇿㇿ	あいうえおであそぼう
	42	右向き矢印 □ㇿㇿㇿ□	あいうえおであそぼう
	42	空欄符号 ㇿㇿㇿㇿ 1マス空欄	あいうえおであそぼう
	51	拗音教材 でんしゃ あくしゅ	くちばし
	52	空欄符号 ㇿㇿㇿㇿㇿ 2マス空欄	なんていったらいいのかな
	57	3かくの表記	こんないしをみつけたよ
	66	「お」と「を」の表記	「わ」「を」「え」をつかおう
	70	「おおきな」と「おとーさん」の表記	おおきなかぶ
	87	はがきの書き方	かけるようになった
	87	二マスあけ(文の最初)	かけるようになった
	87	一マスあけ(読点のあと)	かけるようになった
	87	二マスあけ(句点のあと)	かけるようになった
	87	「おねえさん」の表記	かけるようになった
	98	二重カギ ㇿ ㇿ～ㇿ ㇿ 『ごめんね』	ゆうだち
	99	第1カッコ ㇿ～ㇿ (1)	ゆうだち
	100	中点 ㇿ はなす・きく	おはなしきいて
	102	数字 1から10	かずとかんじ
	102	ひとつ, ふたつ, みっつ・・・, とお	かずとかんじ
	巻末	点字ドリル(資料2参照)	
1 年 下	28	のぼすおんのかきかた(カタカナ)	じどう車くらべ
	41	第二つなぎ符(送りがなの書き方) 例 お「しょう」がㇿㇿㇿㇿㇿㇿㇿㇿㇿ	日づけとよう日
	30・126	特殊音ツァ ㇿㇿ(百一つあん)	まのいいりょうし
	104	特殊音フォ ㇿㇿ フォーク	だってだつてのおばあさん
	巻末	点字ドリル(資料2参照)	

学 年	ページ	指 導 事 項	備 考
2 年 上	11	棒線 □ ⠠⠠⠠⠠ (本文に初出)	ふきのとう
	15	点線 □ ⠠⠠⠠⠠ (本文に初出)	ふきのとう
	21	重ね数字の書き方 二、三日 (⠠⠠⠠⠠⠠⠠)	たんぼぼのちえ
	26	第1小見出し符 ⠠⠠	たんぼぼのちえ
	58	特殊音ティ ⠠⠠ ティリー	本はともだち
	58	疑問符 ⠠ どうするティリー?	本はともだち
	65	丸 (⠠), 点 (⠠), かぎ (⠠~⠠) の使い方	丸, 点, かぎ
	96	詩の書き方	おおきくなあれ
	巻末	点字ドリル (資料2参照)	
2 年 下	33	外来語・擬声語の長音	かたかなで書くことば
	42	感嘆符 ⠠ 朝ごはんをつくろう!	本は友だち
	43	コンマ ⠠	図書館たんていだん
	112	特殊音ジェ ⠠⠠ ジェイミー	本は友だち
	115	伏字の〇 ⠠⠠ 〇〇さん	楽しかったよ, 二年生
	巻末	点字練習追加 (資料1参照)	
3 年 上	5	感嘆符 ⠠ (本文に初出) ふりむいた!	どきん
	8	第1指示符 ⠠~⠠ ⠠おとや	きつつきの商売
	22	日付の略記 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠ 4/19 (火)	ノートとなかよくなるろう
	50	旧仮名遣い ゐ ⠠ ゑ ⠠	声に出して楽しもう
	59	ダッシュ □ ⠠⠠⠠	符号など
	83-85	手紙の書き方・あて名の書き方	手紙を書こう
	125	ローマ字の書き方	ローマ字
	122	ローマ字の拗音, 長音, 促音 長音の例 otōsan ⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ローマ字
	122	外国語引用符 ⠠~⠠	ローマ字
	121	切れるところをしめす印 ⠠ 例 zen'in (全員) ⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ローマ字
	121	大文字符 ⠠⠠⠠ 二重大文字符 ⠠⠠⠠⠠⠠⠠	ローマ字
	120	言葉をつなぐ印 例 3-nen 2-kumi ⠠	ローマ字
	134	コンピューターのローマ字入力	
	巻末	点字ドリル (資料2参照)	
	3 年 下	61	両向き矢印 □ ⠠⠠⠠⠠⠠⠠
116		詩行符 ⠠	この本, 読もう
116		特殊音ヴァ ⠠⠠ シルヴァスタイン	この本, 読もう
116		特殊音ファ ⠠⠠ ファーブル	

学 年	ページ	指 導 事 項	備 考
3 年 下	119	特殊音シェ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ ミシエル スードセン	この本，読もう
	121	ト書きの書き方	とらとおじいさん
	巻末	点字ドリル（資料2参照）	
4 年 上	4	第1段落挿入符 $\square\square\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}\square\sim\square\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$	春のうた
	38	小数点 $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ 44.78 秒 $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$	動いて，考えて，また動く
	51	波線 $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ 10～15 10 $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ 15	読書生活について考えよう
	76	特殊音ドウ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ ヌチドウ 特殊音デイ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ テデイベア	本は友達
	134	算数記号（＋－×＝） $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$	物事や考えをつなぐ言葉
	巻末	点字ドリル（資料2参照）	
4 年 下	46	特殊音ビイ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ ノービイ	三つのお願い
	57	特殊音トゥ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ ピトゥス	
	99	特殊音ウオ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ ストップウォッチ	漢字の広場
	125	特殊音ツエ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ （ホッツェンプロッツ）	この本，読もう
	巻末	点字ドリル（資料2参照）	
5 年	26	特殊音フェ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ ヴァンゴッホカフェ	本は友達
	73	特殊音チェ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ レイチェル	本は友達
	219	特殊音フィ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ ブルニフィエ	この本，読もう
	220	特殊音ウィ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ ダーウィン	この本，読もう
	巻末	点字ドリル（資料2参照）	
6 年	113	特殊音ヴ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ イーハトーヴ	やまなし
	220	特殊音ヴェ $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ ジュール ヴェルヌ	本は友達
	224	アルファベット X $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$ JAXA	宇宙飛行士ーぼくがいだいた夢
	229	文中注記符 $\begin{smallmatrix} \cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot \\ \cdot\cdot\cdot\cdot \end{smallmatrix}$	宇宙飛行士ーぼくがいだいた夢
	264	特殊音のまとめ	特別な読み方の片仮名